

平成16年度

長崎県果樹試験場業務報告

平成17年 7月

長崎県果樹試験場

# 平成16年度長崎県果樹試験場業務報告目次

I. 概況及び総括	頁
1. 沿革	1
2. 所在地	1
3. 組織及び業務の概要	2
4. 機構と職員数	2
5. 職員の配置	2
6. 職員の異動	3
7. 平成16年度決算額	4
8. 職員の研修	5
9. 受託研修等	6
10. 視察等来場者数	9
11. 問い合わせ・相談対応	9
12. 会議等出席	10
II. 研究成果の発表	
1. 刊行物等	18
2. 成果情報の発表	23
III. 長崎県の気象概況	24
IV. 試験研究課題	32

# I. 概況及び総括

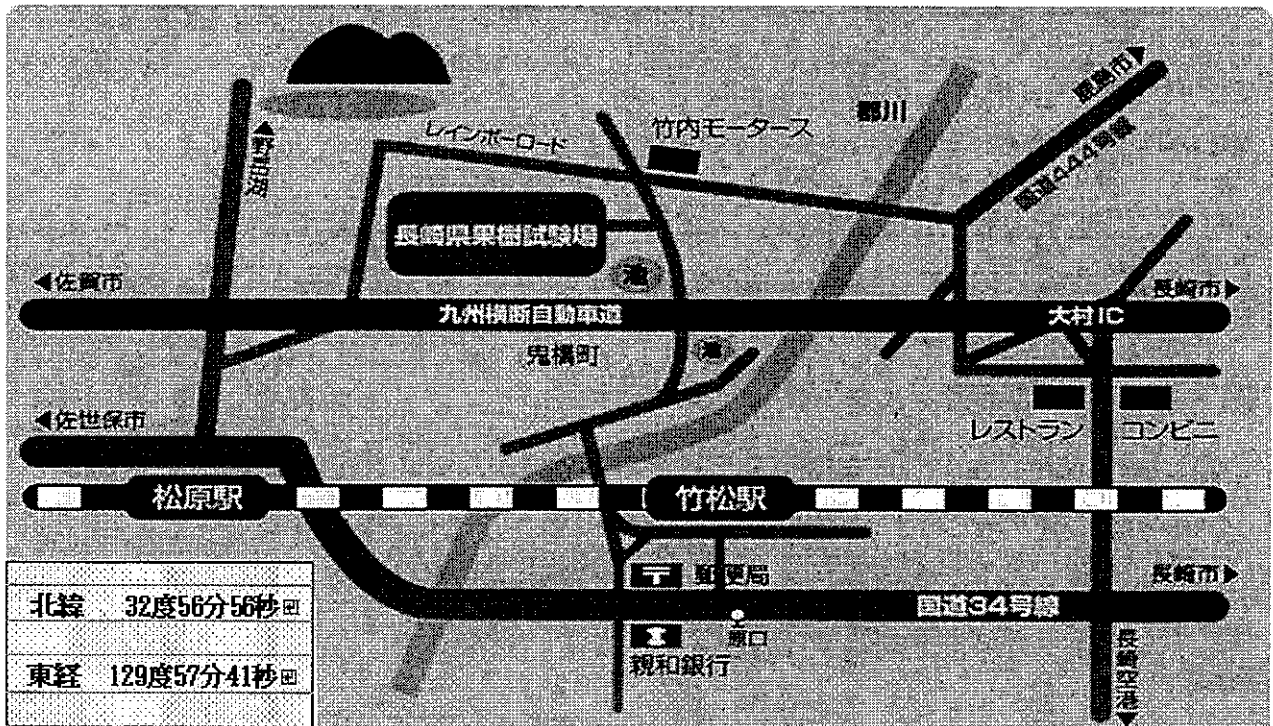
## 1. 沿革

- 昭和29年4月 農業試験場大村園芸分場発足。 発足時には、そ菜担当、果樹担当を配置
- 昭和36年7月 機構改革により総合農林センター果樹部となる。 栽培科、環境科の2科編成
- 昭和38年4月 県北柑橘指導園新設。
- 昭和39年4月 施肥改善科（指定試験）新設。
- 昭和44年4月 環境科を病害虫科と改名。
- 昭和45年4月 長崎県総合農林試験場果樹部と改名。
- 昭和47年4月 長崎県果樹試験場として独立。
- 昭和48年4月 栽培科にビワ育種指定試験地設置。
- 昭和50年3月 県北柑橘指導園廃止。
- 昭和53年4月 ビワ育種科（指定試験）新設。
- 昭和56年4月 落葉果樹（ナシ、ブドウ、キウイ）の栽培試験始まる。
- 昭和58年4月 施設整備計画により本館、調査棟が改築される。
- 昭和63年4月 栽培科が常緑果樹科と落葉果樹科に分かれ独立科となる。
- 平成 8年3月 ミカンの土壌肥料指定試験廃止
- 平成15年4月 県内7試験研究機関を統括する政策調整局所管となる。施肥改善科を廃止。
- 平成16年4月 研究企画室を新設。常緑果樹科と落葉果樹科が統合し生産技術科となる。ミカン育種開始。

## 2. 所在地

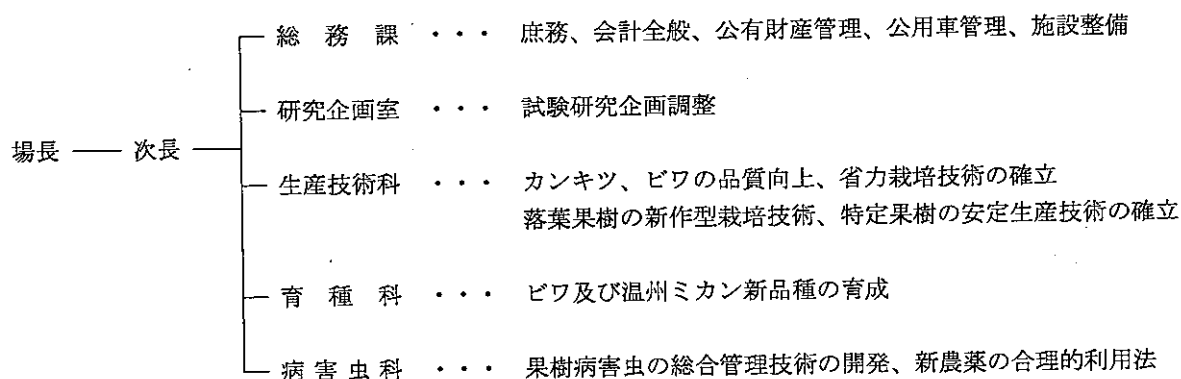
名称	所在地	TEL	交通の便
長崎県果樹試験場	〒856-0021 大村市鬼橋町1370	0957-55 -8740	○JR大村線竹松駅下車2km 徒歩25分 ○バス 原口バス停 タシ-5分

(長崎県果樹試験場 位置図)



1. 概況及び総括

3. 組織及び業務の概要(平成16年4月1日)



4. 機構と職員数(平成16年4月1日現在)

	行政職		研究職				現業職	合計
	課長	係長	場長	次長	室科長	研究員	技師	
場長			1					1
次長				1				1
総務課	1	1					1	3
研究企画室					(1)	(1)		(2)
生産技術科					1	5	3	9
育種科					1	3	2	6
病虫害科					1	2	1	4
合計	1	1	1	1	3 (1)	10 (1)	7	24 (2)

( ) 兼務

5. 職員の配置(平成16年4月1日現在)

場長 寺井理治

次長 中倉建二郎

課(科)名	職名	職員氏名
総務課	課長	満重新矢
	係長	古賀恵美子
	技師	池田安子
研究企画室	次長兼室長	中倉建二郎
	研究員(兼)	谷本恵美子
生産技術科	科長	林田誠剛
	研究員	谷本恵美子
	"	古川忠
	"	永田浩久
	"	徳嶋知則
	技師	田中実喜

課(科)名	職名	職員氏名
	技師	石川清治
	"	山口祐一郎
育種科	科長(参事)	根角博久
	研究員	富永由紀子
	"	高見寿隆
	"	福田伸二
病虫害科	技師	与崎進一郎
	"	嶋田義昭
	科長	早田栄一郎
	研究員	菅康弘
	技師	宮崎俊英 鶴田浩徳

1. 概況及び総括

6. 職員の異動

1) 転入者(平成16年4月1日付)

氏名	新所属	旧所属
中倉 建二郎	次長兼研究企画室長	総合農林試験場企画経営部研究調整科長
満重 新矢	総務課長	県立大村病院総務課長
林田 誠剛	生産技術科長	農業経営課専門技術員班課長補佐
永田 浩久	生産技術科研究員	農産園芸課食品・環境班主査
徳嶋 知則	生産技術科研究員	病害虫防除所主査

2) 転出者(平成16年4月1日付)

氏名	新所属	旧所属
山下 次郎	県央農業改良普及センター係長	常緑果樹科研究員
種川 淳子	県北農業改良普及センター技師	〃

3) 場内異動(平成16年4月1日付)

氏名	新所属	旧所属
丸田 助喜	生産技術科技師	常緑果樹科技師
石川 清治	〃	〃
山口 祐一郎	〃	落葉果樹科技師
与崎 進一郎	育種科技師	常緑果樹科技師

4) 退職者(平成16年3月31日付)

氏名	旧所属	備考
大久保 宣雄	場長	
山下 義昭	次長兼常緑果樹科長	

I. 概況及び総括

7. 平成16年度決算額

1) 総使用額	276,240,785円
(1) 人件費(職員給与)	209,253,890円
(2) 果樹試験場費(本庁執行額等を含む)	50,066,747円
① 運営費	12,578,322円
② 試験研究費	
常緑・落葉果樹研究費	10,298,000円
育種研究費	6,101,000円
病虫害研究費	7,417,000円
圃場管理費	6,733,000円
研究広報費	646,000円
③ 果樹試験場施設整備費	6,293,425円
(3) 果樹試験場費以外の令達予算	16,920,148円

2) 果樹試験場費の財源内訳

(1) 一般財源	34,876,747円
(2) 国庫支出金	4,892,000円
(3) その他	10,298,000円

3) 果樹試験場施設整備費の内訳

(1) 施設整備	0円
(2) 備品更新・整備	6,293,425円
(3) 備品更新・整備の内訳	

品名	
光合成蒸散測定器	一式
プロジェクター収納箱	1台

I. 概況及び総括

8. 職員の研修

(1) 平成16年度依頼研究員研修事業に基づく研修

研修者氏名	所属名	研修課題	研修機関	研修期間
福田 伸二	果樹試験場 生産技術科	DNA マーカーによるピワ属の連鎖地図作製法の修得	(独)農業・生物系特定産業技術研究機構 果樹研究所 遺伝育種部落葉果樹ゲノムチーム	H16.8.1 ～ 10.31
田中 実	果樹試験場 生産技術科	気象及び樹体情報を活用した落葉果樹生産技術の確立	(独)農業・生物系特定産業技術研究機構 果樹研究所 生理機能部 環境応答研究室	H16.9.1 ～ 11.30

(2) 平成16年度農林業バイオテクノロジー研究推進事業に基づく研修

研修者氏名	所属名	研修課題	研修機関	研修期間
谷本恵美子	果樹試験場 生産技術科	農業技術研修 PCR を用いたブドウウイルス検定方法の習得	(独)農業・生物系特定産業技術研究機構 果樹研究所 ブドウ・カキ研究部病理研究室	H16.11.28 ～ 12.11
宮崎 俊英	果樹試験場 病害虫科	遺伝子的手法を用いた果樹害虫の天敵、共生微生物利用技術の修得	(独)農業・生物系特定産業技術研究機構 果樹研究所 カンキツ研究部口之津 虫害研究室	H17.2.21 ～ 2.25

(3) 平成16年度都道府県農林水産省関係研究員短期集合研修等

研修者氏名	所属名	研修課題	研修機関	研修期間
なし				

(4) 海外での学会、調査等の出張

研修者氏名	所属名	技術交流	交流機関	交流期間
なし				

(5) 研究員ゼミ等職員研修

日時	場所	内容	研修者等	参加者数	
5.11	場内	場内ゼミ	研究員	10	
6.1～2	長崎市	初級マネージメント研修	生技科研究員	1	
7.8～9	熊本県	かんきつグリーンング研修	病害虫科研究員	1	
7.20	長崎市	中級マネージメント研修	生産技術科長	1	
7.26	長崎市	トップセミナー受講	場長	1	
7.27～28	長崎市	上級マネージメント研修	次長	1	
7.28	熊本県	環境保全型農業シンポジウム	病害虫科研究員	1	
8.9	長崎市	パソコン研修(中級)	場長	1	

I. 概況及び総括

日 時	場 所	内 容	研 修 者 等	参 加 者 数
9. 2	長崎市	上級マネージメント研修	場長	1
10.14	長崎市	キャリア デザイン研修	病害虫科研究員	1
11. 4	長崎市	危機管理特別セミナー	次長	1
11. 5	諫早市	不当要求行為対策会議	次長	1
11.24 ~ 25	宮崎県	亜熱帯果樹栽培現地調査、情報収集	次長、技師	2
12. 2	長崎市	トップセミナー受講	場長	1
12. 7	諫早市	合同ゼミ	研究員	5
12.19 ~ 23	愛媛県	加籽品質向上対策技術情報収集	生産技術・育種科	4
3.23 ~ 26	新潟県	ビワ遺伝資源調査	育種科研究員	3
		17 回		36 人

9. 受託研修等

(1) 農業指導者等実技研修（農業大学経由・農協等）および一般研修

受け入れ科名	研修者氏名	依 頼 機 関 名	研 修 項 目	研 修 期 間
なし				

(2) 農業改良普及員研修（新任者、課題解決等）

受け入れ科名	研修者氏名	普及センター	研 修 部 門	研 修 名	研 修 期 間
生産技術科 育 種 科	松本紀子 福吉賢三	長 崎 県 央	果樹全般	専門技術基礎研修	1期 H16. 7.12 ~ 7.16 2期 H16.12. 8 ~ 12.10 3期 H17. 3. 2 ~ 3. 3
生産技術科 育 種 科 病 害 虫 科	宮路崇生 荒牧貞幸 植村直己 小林達郎	長 崎 " 島 原 県 北	果樹全般	専門課題解決研修	H16.11.29 ~ 12.3

(3) 大学生研修

受け入れ科名	研修者氏名	所 属	研 修 項 目	研 修 期 間
育 種 科	兵働あかり	九州東海大学 農学部応用植物学科	果樹育種	H16.8.23 ~ 9.3

(4) 海外研修生

受け入れ科名	研修者氏名	所 属	研 修 項 目	研 修 期 間
なし				



1. 概況及び総括

(5) 生産組織研修

受け入れ科名	組織名	地区名	員数	研修内容	研修日
生産技術科	JAことのみ	伊木力	20	させぼ温州、デコボン栽培法	H16. 4. 8
生産・育種科	上関町農委	山口県	12	ピロ品質向上研修	H16. 4. 22
生産技術科	JAことのみ	長浦	18	させぼ温州、デコボン栽培法	H16. 6. 10
〃	JA大長崎	外海	11	ブドウの栽培について	H16. 6. 14
〃	JA県央	諫早	15	スモモの栽培管理技術について	H16. 6. 21
〃	JAことのみ	琴海	20	スモモ栽培について(試食)	H16. 6. 23
〃	JA島原雲仙	一円	10	スモモ栽培について(試食)	H16. 6. 24
〃	JAさせぼ	宮	4	スモモ栽培について	H16. 6. 28
〃	JAことのみ	時津	10	ピロ「涼風」について	H16. 6. 30
〃	JA愛媛中央	愛媛県	15	デコボン栽培法、温州マルチについて	H16. 7. 5
〃	JAことのみ	長与町	15	させぼ温州栽培法	H16. 7. 8
〃	東海コープ	大阪	2	果樹試験場視察(果実全般)	H16. 7. 8
〃	JA大長崎	茂木	35	ナシの大果生産栽培技術について(試食)	H16. 7. 9
〃	JA山口大島	山口県	18	高品質ミカン栽培について	H16. 8. 24
〃	JA東長崎	日見	9	させぼ温州栽培法	H16. 8. 24
〃	JAことのみ	喜々津	20	させぼ温州栽培法	H16. 8. 26
〃	JA呉	広島県	25	マルチによる高品質ミカン栽培について	H16. 9. 7
〃	JA熊本うき	熊本県	26	中晩柑栽培について	H16. 9. 9
〃	JAことのみ	琴海	15	させぼ温州栽培法	H16. 9. 14
〃	布津ピロ部会	布津町	14	ピロ栽培法 新品種「麗月」について	H16. 9. 14
〃	JA県央	千綿	17	させぼ温州栽培法	H16. 9. 15
生産技術科	JAことのみ	伊木力	30	させぼ温州栽培法	H16. 9. 16
生産・育種科	JA大長崎	長崎	10	させぼ温州の生産技術、品種について	H16. 9. 17
生産・病虫害科	JA県央	ピロ部会	40	ピロ栽培法 ピロの病虫害について	H16. 9. 17
生産技術科	JAありだ	和歌山県	15	中晩柑栽培について	H16. 9. 21
〃	大瀬戸公民館	多以良	40	ミカン、ピロの植え付けについて	H16. 9. 27
〃	JA東長崎	農業塾生	22	果樹全般	H16. 10. 19
〃	JAことのみ	長与	20	有望中晩柑栽培法について	H16. 10. 29
〃	山鹿4HC	熊本県	5	ミカン栽培	H16. 11. 5
〃	JA島原雲仙	大三東	8	ミカン栽培・品種の動向	H16. 11. 15
〃	JA島原雲仙	瑞穂	17	ハウスピロ収量向上対策	H16. 11. 18
生産・育種科	鹿児島市果樹部会	鹿児島市	48	ミカン、ピロ栽培について	H16. 11. 26
病虫害科	長崎市農業センタ	長崎市	1	落葉果樹のせん定法	H16. 11. 26
生産技術科	JAことのみ	伊木力	10	有望中晩柑栽培法について	H17. 1. 27
〃	川棚ふるさと会	川棚	44	有望中晩柑の栽培と試食	H17. 2. 13
〃	JAことのみ	晩柑研究部	27	有望中晩柑栽培法と試食	H17. 2. 16
〃	南高果樹農協	南有馬	35	カンキツの新品種、高品質生産	H17. 2. 21
〃	果樹研究会	長崎西彼	30	させぼ温州、ヒリュウ台活用など(試食)	H17. 2. 21
育種科	JA大長崎	瀬の脇	10	温州の生産技術、品種について	H17. 3. 4
生産技術科	JA長崎西海	佐世保針尾	21	させぼ温州生産安定、マルチ栽培など	H17. 3. 4
育種科	JA大長崎	大串	17	有望中晩柑の品種について	H17. 3. 4
生産技術科	JA延岡	宮崎県	15	ハウススモモの栽培	H17. 3. 29
件数			796人	42件	

1. 概況及び総括

(6) 婦人グループ研修

受け入れ科名	組織名	地区名	員数	研修内容	研修日
生産技術科	JAことのみ	伊木力女性部	63	させぼ温州、ミカン病害虫の最近の動向	H16. 6. 23
生産技術科	JA県央	中部	41	させぼ温州の栽培について	H16. 7. 6
件数			104人	2件	

(7) 営農指導員等研修

受け入れ科名	組織名	地区名	員数	研修内容	研修日
生産技術科	JA愛媛中央	愛媛県	15	中晩柑、高糖温州の栽培	H16. 7. 5
育種科	JAことのみ	長崎	15	川田温州の栽培	H16. 11. 24
場各科	JAことのみ	長崎	25	温州のヒリュウ台による品質向上対策など	H17. 2. 23
生産技術科	鹿児島経済連	鹿児島	15	ビワ新品種、ビワ栽培について	H17. 3. 11
件数			70人	4件	

(8) 体験学習

受け入れ科名	研修者氏名	依頼機関名	研修項目	研修期間
生産技術科 育種科 病害虫科	大石 舞 吉田 博紀	県立ろう学校 1年生	職場体験学習 ・スモモ・ブルーベリーの収穫 ・ミカン摘果 ・苗木かん水	H16. 7. 7 ~7. 8
生産技術科 育種科 病害虫科	酒井 善弘	虹の原養護学校 教諭	職場体験研修 ・ハウスミカン、ナシ、ブドウ収穫 ・病害虫調査 ・ミカン摘果	H16. 8. 2 ~8. 6
生産技術科 育種科 病害虫科	大島 義成	虹の原養護学校 1年生	職場体験学習 ・ビワ袋かけ ・キウイフルーツ枝誘引 ・苗かん水等	H17. 1. 17 ~1. 28
件数	4人		3件	

(9) 海外からの視察見学など

受け入れ科名	組織名	地区名	員数	研修内容	研修日
果樹試験場	台湾かんきつ産業革命委員会		11	かんきつ栽培、育種、病害虫関係	H16. 7. 21
果樹試験場	ブータン王国天然資源再利用センター		1	カンキツウイルス病関係	H16. 10. 29
果樹試験場	パラグアイ		3	果樹全般	H16. 11. 26
件数			15人	3件	

## 1. 概況及び総括

### 10. 視察等来場者数

( ) 内は件数

	県 内	県 外	外 国	総 計
学 生 (生 徒)	( 7) 713	( 1) 1	( 0) 0	( 8) 714
一 般	( 106) 1,745	( 28) 159	( 3) 15	( 109) 1,919
計	( 112) 2,458	( 29) 160	( 3) 15	( 112) 2,633

\*一般公開来場者 総数 1,253人 (一般 685人 、 学生・生徒 568人)

### 11. 問い合わせ・相談対応

(件・人)

科 名	手 段		問 い 合 わ せ ・ 相 談 者					相 談 内 容				
			農家	普及	J A	一 般	そ の 他	栽培	品 種	病 害 虫	そ の 他	
生産技術科	電話	常緑	70	34	6	11	11	8	41	8	9	12
		落葉	61	22	9	9	18	3	45	5	6	5
	来訪	常緑	28	12	4	6	2	4	16	3	6	3
		落葉	27	18	3		4	2	24		3	
育 種 科	電 話	56	5	11	31	7	2	4	36	3	13	
	来 訪	25	12	8	5				15	2	8	
病 害 虫 科	電 話	110	32	29	38	6	5			110		
	来 訪	75	19	26	28	2				75		
計	電 話	264	83	50	86	26	19	61	47	128	28	
	来 訪	188	71	46	42	24	5	69	20	86	13	

1. 概況及び総括

12. 会議等出席

(1) 研究企画室関係

月 日	行 事 内 容	主 催	場 所	担 当 科	出席員数
4. 13	公設試研究調整担当者会議 (第1回)	科学技術振興課	諫早市	研究企画室	2
15	農林関係研究調整担当者会議 (第1回)	〃	〃	〃	3
16	工業技術センター成績発表会	工業技術センター	大村市	〃	1
20	政策局長来場	科学技術振興課	場 内	場長他	22
23	産ニーズ対応産学官連携交流会	〃	長崎市	研究企画室	2
5. 12	分野融合研究会打ち合わせ	〃	場 内	〃	5
5. 27	農林関係研究調整担当者会議 (第2回)	科学技術振興課	諫早市	場長、次長他	3
6. 1	公設試場長、次長会議	〃	長崎市	場長、次長	2
4	公設試研究調整担当者会議 (第2回)	〃	〃	研究企画室	2
8	政策評価ヒヤリング (県庁)	政策評価課	長崎市	〃	1
9	公設試見学会 (衛生公害研究所)	科学技術振興課	長与町	〃	2
10	公設試見学会 (畜産試験場)	〃	有明町	〃	1
11	県知的財産戦略検討会 (農林部会)	〃	諫早市	育種科長	1
16	公設試見学会 (総合水産試験場)	〃	長崎市	〃	3
17	公設試見学会 (窯業技術センター)	〃	波佐見	〃	4
18	公設試見学会 (果樹試験場)	〃	場 内	〃	8
22	県知財戦略ワーキンググループ 農林検討会	〃	諫早市	育種科長	1
7. 2	農林関係研究調整担当者会議 (第3回)	〃	諫早市	研究企画室	2
6	農業技術普及連絡会議	農業経営課	諫早市	〃	2
8	分野別課題研究推進委員会	科学技術振興課	〃	〃	4
13~14	九州農業試験研究推進会議・企画評価会議	(独)九沖農研	熊 本	〃	1
15	県知財戦略ワーキンググループ 農林検討会	科学技術振興課	長崎市	育種科長	1
22	農林関係研究企画調整検討会 (第4回)	〃	諫早市	研究企画室	2
26	公設試研究調整担当者会議 (第3回)	〃	長崎市	〃	2
29	政策調整局理事との意見交換会	〃	場 内	〃	22
29	連携プロジェクト場長ヒヤリング	場 内	〃	〃	6
8. 2	研究推進委員会	科学技術振興課	諫早市	〃	5
31	連携プロヒヤリング	〃	長崎市	〃	2
9. 3	産学官連携シンポジウム	〃	〃	〃	4
13	知財戦略ワーキンググループ会議	〃	〃	〃	1
15	科学技術関係農林部会企画担当者会	〃	諫早市	〃	2
24~28	園芸学会 秋期大会	園芸学会	静岡県	場長他	4
10. 8	フォローアップレビュー打ち合わせ	科学技術振興課	諫早市	研究企画室等	4
12	農林業先端技術バイテクセミナー	農業経営課	〃	〃	6
13	農林関係企画調整担当者会議 (第5回)	科学技術振興課	〃	〃	2
15	科学技術関係調整会議農林部会	〃	長崎市	〃	3
20	試験研究業務打ち合わせ	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	1
22	産学官連携推進機構総会・特別講演	〃	〃	場長他	4
25	大学との連携フォーラム実行委員会	〃	大村市	研究企画室	1
11. 15	農林関係企画調整担当者会 (第6回)	〃	〃	〃	2
26	九州農業試験研究推進会議 本会議	(独)九沖農研	熊本県	場長	1
29	政策課予算ヒヤリング	地域政策課等	長崎市	次長他	3
30~ 1	させぼブランド企業紹介	科学技術振興課	佐世保	研究企画室	1

1. 概況及び総括

月 日	行 事 内 容	主 催	場 所	担 当 科	出席員数
12. 17	県立大・研究機関連携フォーラム	〃	長与町	場長他	10
22	園芸学会 長崎大学との打ち合わせ	果試・農試	長崎市	場長・次長	2
1. 5	農林関係企画調整担当者会議 (第7回)	科学技術振興課	〃	研究企画室	2
7	農林部職員研修	農政課	場 内	場長次長科長	5
11	分野別課題評価委員会	科学技術振興課	諫早市	研究企画室	7
13	異業種連携名刺交換会	科学技術振興課	長崎市	場長	1
17	農林業技術連絡会議	農業経営課	〃	場長・次長	2
18	課題評価委員会 (連携プロ)	科学技術振興課	〃	場長次長研究員	4
19	園芸学会 運営委員会	果試・農試	諫早市	場長次長科長	3
27	産学官連携推進機構コア・イネーター会議	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	2
2. 3	産ニーズ対応型交流会	〃	〃	場長・次長	2
7	分野別機関評価委員会	〃	場 内	場長次長科長	6
10	九州沖繩研究推進会議・企画評価部会	(独) 九州農研	熊本県	研究企画室	1
15	試験研究推進ビジョンワーキンググループ会議	科学技術振興課	長崎市	生産技術科長	1
22	分野別研究推進委員会	科学技術振興課	諫早市	場長他	6
23	知的財産セミナー	〃	大村市	場長・次長	2
23	知的構造システム技術研修会	〃	大村市	次長・研究員	3
24	中国福建省との交流会	〃	諫早市	場長・研究員	2
24	中国福建省との交流会	〃	諫早市	次長	1
25	先行技術調査研修会	〃	大村市	育種科	1
3. 4	園芸学会 長崎大学との打ち合わせ	果試・農試	長崎市	場長	2
7~8	大学との連携フォーラム反省会	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	1
14	場内成績検討会	果樹試験場	場 内	場長他	20
18	研究推進員会	科学技術振興課	長崎市	〃	5
22	果樹推進部会	果樹試験場	場 内	〃	15
22	農林関係企画調整担当者会(第8回)	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	2
24	公設試企画担当者会 (第4回)	〃	〃	〃	1
25	試験研究推進ビジョンワーキンググループ会議 (第2回)	科学技術振興課	諫早市	生産技術科	1
28	科学技術関係農林部会	科学技術振興課	〃	場長他	2
	九州地方知事会提案事項検討会	〃	諫早市	研究企画室	1
合 計	73回				263

1. 概況及び総括

(2) 県主催					
月 日	行 事 内 容	主 催	場 所	担当科等	出席員数
4. 1	農林業試験研究機関長等会議	農林部	長崎市	場 長	1
4. 6	県立農業大学校入学式	県立農大	諫早市	"	1
4. 9	防除基準打合せ	農業経営課	"	病害虫科長	1
4. 22	施肥合理化協議会幹事会	農産園芸課	長崎市	生産技術科長	1
4. 22	植物防疫協議会幹事会	"	"	病害虫科長	1
4. 23	新営農現地試験打合せ	"	時津町	生産技術科	1
4. 26~27	農産園芸振興対策協議会	農林部	長崎市	場長他	5
5. 6	施肥合理化協議会総会	農産園芸課	"	生産技術科長	1
5. 12	防除合理化協議会	農業経営課	"	病害虫科長	1
5. 14	施設園芸新技術セミナー打合せ	農林部	場内	病害虫科	1
5. 16	工業技術センター成果発表会	工業技術センター	大村市	次 長	1
5. 17	環境保全型農業技術検討会	農業経営課	長崎市	生産・病虫科	2
5. 20	植物防疫協会総会	"	"	病害虫科長	1
5. 21	果樹新技術研究会打合せ	農産園芸課	諫早市	生産技術科長	1
5. 30	新評価制度説明会	科学技術振興課	長崎市	場 長	1
6. 11	県知的財産戦略検討会（農林部会）	"	諫早市	育種科長	1
6. 22	県知財戦略ワーキンググループ 農林検討会	"	"	"	1
6. 30	病害虫・雑草防除基準改定検討会	農業経営課	"	生産病害科	2
7. 2	農薬安全対策協議会	"	長崎市	病害虫科長	1
7. 22	県知財戦略ワーキンググループ 農林検討会	"	"	"	1
8. 4	環境保全型農業推進会議	農産園芸課	諫早市	生産技術科長	1
8. 10	防除基準検討会	農業経営課	"	病害虫科長	1
8. 12	異常気象対策会議	農産園芸課	長崎市	場 長	1
8. 26	施肥合理化協議会幹事会	農業経営課	"	生産技術科長	1
8. 26	植物防疫協会幹事会	"	"	病害虫科長	1
9. 13	知財戦略ワーキンググループ会議	科学技術振興課	"	育種科長	1
9. 14	防除基準検討会	農業経営課	諫早市	病害虫科長	1
9. 14	雑草防除基準検討会	"	"	生産技術科	1
9. 21	農林業試験研究機関長会議	科学技術振興課	長崎市	場長	1
10. 8	果樹集団産地市町村協議会	農産園芸課	"	場長	1
10. 14	農業技術協議会（病害虫）	"	大村市	病害虫科	3
10. 28	新営農技術確立実証試験成績検討会	農業経営課	時津町	生産技術科	2
10. 14	病害虫防除展示圃成績検討会	"	諫早市	病害虫科	1
11. 16	環境保全型農業技術検討会	農産園芸課	諫早市	病害虫科長	1
11. 19	農薬安全対策協議会	農業経営課	長崎市	"	1
11. 20~21	食の感謝祭	農林部	"	場	5
11. 20	園芸ビジョン21果樹部会	農産園芸課	"	生産技術科	2
12. 15	知事との懇談会	科学技術振興課	"	場長、研究員	3
12. 15	農林業技術連絡会議	農林部	"	次長	2
12. 27	経過措置承認農薬打合せ	農業経営課	諫早市	病害虫科長	1
1. 20	県植防協会幹事会	"	長崎市	"	1
2. 1	ビワ新品種振興方策検討会	農産園芸課	"	次長他	3
2. 15	バイオテック推進協議会・報告会	農業経営課	諫早市	各科	5
2. 16	非破壊選果機導入調査	農産園芸課	多良見	生産技術科長	1
2. 18	園芸ビジョン企画推進部会	"	長崎市	生産技術科	2
2. 17	農作物トレーザビリティ研修会	"	諫早市	"	1

1. 概況及び総括

月 日	行 事 内 容	主 催	場 所	担当科等	出席員数
2. 22	県植防協会幹事会	農業経営課	長崎市	病害虫科長	1
2. 25	農薬使用緊急対策会議	〃	〃	病害虫科長	1
3. 10	担い手高度技術現地実証検討会	〃	諫早市	研究員	3
3. 16	農改センター所長会	〃	長崎市	場長、科長	2
3. 17	県立農業大学卒業式	県立農大	諫早市	場 長	1
3. 24	土壌肥料懇話会	農産園芸課	長崎市	生産技術科	1
3. 29	研究機関長会議	科学技術振興課	〃	場 長	1
回 数	53回				80

(3)連携プロジェクト

月 日	行 事 内 容	主 催	場 所	担 当	出席員数
4. 5	非破壊プロジェクト打合せ会	工業技術センター	大村市	育 種 科	1
4. 14	バイオマスプロジェクト打合せ会	総合農林試験場	諫早市	生産技術科	1
4. 21	連携プロジェクト合同研究推進会議	科学技術振興課	長崎市	生産・育種科	3
5. 10	非破壊プロジェクト打合せ会	工業技術センター	大村市	育 種 科	1
6. 8	〃	〃	〃	〃	1
6. 21	バイオマスプロジェクト打合せ会	衛生公害研究所	諫早市	生産技術科	1
7. 5	非破壊プロジェクト打合せ会	工業技術センター	大村市	育 種 科	1
7. 30	分野融合研究会（塩ストレス）	シーボルト大	長崎市	〃	1
8. 2	非破壊プロジェクト打合せ会	工業技術センター	大村市	〃	1
8. 23	分野融合研究会（塩ストレス）	シーボルト大	長崎市	〃	1
9. 17	バイオマスプロジェクト打合せ会	衛生公害研究所	長与町	生産技術科	1
11. 15	非破壊プロジェクト打合せ会	工業技術センター	大村市	育 種 科	1
11. 25	バイオマスプロジェクト打合せ会	衛生公害研究所	長与町	生産技術科	1
11. 29	〃	総合農林試験場	諫早市	〃	1
12. 6	非破壊プロジェクト打合せ会	工業技術センター	大村市	育 種 科	1
12. 6	バイオマスプロジェクト研究会	衛生公害研究所	飯盛町	生産技術科	1
12. 16	ビワ葉機能性プロジェクト打合せ会	茶業試験場	諫早市	〃	1
1. 13	バイオマスプロジェクト打合せ会	衛生公害研究所	長与市	〃	1
1. 19	非破壊プロジェクト打合せ会	工業技術センター	大村市	育 種 科	1
1. 25	バイオマスプロジェクト打合せ会	果樹試験場	有明町	生産技術科	1
1. 27	分野融合研究会（塩ストレス）	シーボルト大	長崎市	育種科	1
2. 7	ビワ葉機能性プロジェクト試験検討会	茶業試験場	東彼杵	生産技術科	2
2. 7	非破壊プロジェクト打合せ会	工業技術センター	大村市	育 種 科	1
2. 10	ビワ葉機能性プロジェクト会議	科学技術振興課	東彼杵	生産技術科	1
2. 25	ビワ葉機能性プロジェクト説明会	果樹試験場	諫早市	次長、生技科	3
3. 4	非破壊プロジェクト打合せ会	工業技術センター	大村市	育 種 科	1
3. 14	バイオマスプロジェクト研究会	衛生公害研究所	飯盛町	生産技術科	1
3. 16	バイオマスプロジェクト打合せ会	総合農林試験場	諫早市	〃	1
回 数	28回				33

1. 概況及び総括

(4) 国等主催

月 日	行 事 内 容	主 催	場 所	担 当 科	出席員数
4. 16~17	果樹品種研究会	(独) 果樹研究所	つくば	場 長	1
4. 23	地域基幹検討会	(独) 九沖農研	熊本県	常緑果樹科	2
4. 22~23	指定試験主任者会議及び指定試験協議会	(独) 農研	つくば	育種科長	1
5. 12	九州地区果樹試験場所長会議、現地検討会	九果試場所長会	大分県	場 長	1
5. 13~14	九州沖縄農業試験研究果樹推進部会	"	大分県	各科	7
5. 12~22	果樹カメムシ類の省力的発生予察手法検討会	(独) 農研	東京都	病害虫科長	1
5. 20~21	全国農業関係試験研究機関場長会	全国場長会	佐世保市	場長・次長	2
5. 29~30	日本菌学会	日本菌学会	長与町	病害虫科	1
6. 4	高度化事業試験設計検討会	(独) 九沖農研	佐賀県	生産技術科	3
6. 17~18	農林害虫防除研修会	農林害虫防協	高知市	病害虫科	1
7. 12	九州ミカン高品質化安定生産技術確定普及会議	(独) 九沖農研	熊本市	生産技術科長	1
7. 14~15	ガンマーフィールドシンポジウム	(独) 農研	つくば	育種科	1
7. 27~28	常緑果樹系統適応性検定試験成績検討会	(独) 果樹研	佐世保	生産・育種科長	6
8. 5~6	九州病害虫防除協議会夏期研修	九防協	高来町	場長科長科員	4
9. 20~21	園芸学会 秋期大会	園芸学会	静岡県	場長他	4
10. 5~6	土壤肥料研究会	(独) 九沖農研	鹿児島	生産技術科	1
10. 12	都道府県農業関係試験場所長会	全国場長会	東京都	場 長	1
11. 18	常緑果樹除草剤、生育調節剤試験成績検討会	(独) 九沖農研	福岡市	生産技術科	1
10. 19~20	九州沖縄農業試験研究成果発表会 (沖縄)	"	沖縄県	場長他	5
10. 12~14	常緑果樹研修所講義	(独) 農研	大分県	育種科長	1
11. 9	九州沖縄農業試験研究 発表会	(独) 九沖農研	熊本県	病害虫科	2
11. 9~10	九州沖縄農業試験研究推進会議 本会議	"	熊本県	場長・次長	2
11. 11	九州ミカン高品質化安定生産技術確定普及会議	"	熊本市	生産技術科長	1
11. 11~12	果樹連絡試験成績検討会	九防協	福岡市	病害虫科	3
11. 30~12. 2	日本植物防疫協会試験成績検討会	日植防協会	東京都	"	2
12. 2~3	日本植物防疫協会試験成績検討会	"	東京都	"	1
1. 24~26	落葉果樹系統適応性検定試験成績検討会	(独) 果樹研	つくば	生産技術科	1
1. 25~28	果樹研究会 (常緑・落葉)	"	東京都	"	3
1. 26~28	果樹研究会 (病害虫)	"	東京都	病害虫科	2
1. 31~2. 1	九州沖縄農業試験研究推進会議 果樹部会	(独) 九沖農研	諫早市	全研究員	10
1. 31~2. 3	九州病害虫研究会及び植物防疫九州地区協議会	九病虫・農政局	大分市	病害虫科	2
2. 1~5	九州沖縄農業試験研究推進会議 土壤肥料部会	(独) 九沖農研	熊本市	"	1
2. 2~5	常緑果樹研究会	(独) 果樹研	静岡市	生産育種科	3
2. 6~8	九州沖縄農業試験研究推進会議 病害虫部会	(独) 九沖農研	熊本市	病害虫科	2
2. 9	高度化事業試験設計検討会	"	佐賀県	生産技術科	2
2. 18	九州病害虫防疫協会試験設計検討会	九防協	福岡市	病害虫科長	1
2. 14~15	果樹カメムシ類の省力的発生予察手法検討会	農林水産省	東京都	"	1
2. 22~24	土水研究会	(独) 果樹研	つくば	生産技術科	1
3. 9~11	農業機械試験成績検討会議	(独) 農研	埼玉県	"	1
3. 23~27	日本応用動物昆虫学会	動物昆虫学会	東京都	病害虫科長	1
3. 27~31	植物病理学会及びバイオコントロール研究会	病理学会	東京都	病害虫科	1
回 数	40回				85



1. 概況及び総括

(5) 団体等主催

月 日	行 事 内 容	主 催	場 所	担当科等	出席員数
4. 8	ハウスミカン・ピワ果研部会長会	全農ながさき	長崎市	生産技術科長	1
4. 8	果樹損害評価 ナシ見回り調査	県農業共済組合	諫早市	場長、科長	2
4. 9	果樹品種打合せ	全農ながさき	長崎市	生産技術科長	1
4. 14	果樹業務打ち合わせ (行政、研究、団体)	〃	〃	場長他全科長	5
4. 26	ハウスミカン出荷協議会	〃	〃	生産技術科長	1
5. 6	施設果樹出荷協議会	〃	〃	〃	1
5. 10	果樹損害評価 ミカン開花状況見回り調査	県農業共済組合	一 円	場長、科長	3
5. 12	果樹技術者協議会研修会	全農ながさき	時津町	育種科長	1
5. 21	長崎の果樹編集員会	〃	長崎市	生産技術科長	1
6. 2	果樹技術者協議会総会・研修会	〃	諫早市	場長他研究員	7
6. 8	果樹研究会総会	〃	長崎市	場 長	1
7. 9	県下農協営農指導員協議会総会	農協中央会	諫 早 市	場 長	1
7. 13	温州ミカン計画生産 マルチ調査	〃	北有馬	生産技術科長	1
7. 30	果樹研究会ピワ部会	全農ながさき	長崎市	生産技術科	1
8. 3	果樹損害評価 ナシ見回り調査	県農業共済組合	一 円	場長、科長	3
8. 6	県苗木組合総会	全農ながさき	大村市	生産・育種科	2
8. 9	果樹研究会若手産地交流会	〃	諫早市	生産技術科長	1
8. 17	雲仙ブドウ品評会審査	〃	島原市	〃	1
8. 31	温州みかん出荷協議会	雲仙ブドウ組合	長崎市	場 長	1
9. 8～9	全国カンキツ大会	全農ながさき	和歌山	生産技術科	1
10. 5	施設園芸セミナー	全農ながさき	諫早市	生産技術科長	2
10. 6	果樹損害評価 ミカン見回り調査	県農業共済組合	一 円	場長、科長	3
10. 8	果樹種苗打合せ	全農ながさき	長崎市	次長他	3
10. 15	果実基金打合せ	〃	〃	次 長	1
10. 18	県果樹研究会ピワ部会研修会	果樹試験場	場 内	生産・育種科	4
10. 23	果物のある食生活講演会	果実基金	長崎市	次長・科長	3
11. 5	ミカン生産出荷検討会	全農ながさき	〃	生産技術科長	1
11. 18	長崎の果樹編集員会	〃	〃	〃	1
11. 19	ナシせん定研修会	〃	有家町	生産技術科長	1
12. 8	農協果樹担当生産販売課長会議	〃	長崎市	育種科長	1
12. 14	ブドウ母樹園打合せ	〃	〃	次長、科長他	3
12. 15	農業共済果樹 (ナシ) 損害評価会	県農業共済組合	諫早市	場長、科長	3
1. 24	果樹技術者協議会ピワ部会	全農ながさき	東彼杵	生産技術科	1
2. 4	ハウスピワ出荷協議会	〃	長崎市	場 長	1
3. 9	果樹損害評価 共済部会	県農業共済組合	諫早市	場長、科長	3
3. 10	ミカン生産販売反省会	全農ながさき	長崎市	生産技術科長	1
回 数	35回				69

1. 概況及び総括

(6) 果樹試験場主催及び要請対応

月 日	行 事 内 容	主 催	場 所	担当科等	出席員数
4. 12	県立農業大学校研究生研修打ち合わせ	県立農大	場 内	研究企画室	1
5. 6	自民党内外政策研究会	自民党	長崎市	場 長	1
5. 18	研究成果情報地区別報告会	長崎農改センター	時津町	生産技術科	1
6. 11	大村市百人委員会	大村市	場内	〃	2
6. 24	果樹新技術研究会	果樹試験場	〃	場長他	8
6. 25	試験研究OB会講演	試験場職員OB会	諫早市	場 長	1
6. 28	果樹品種研究会発会協議	果樹試験場	場内	場長他	6
6. 29	県立農大講義	県立農大	諫早市	病害虫科	1
7. 7	〃	〃	〃	育種科長	1
7. 9	〃	〃	〃	次 長	1
7. 12	総合科学大学公開講座	総科大	長崎市	場 長	1
8. 31	県農業賞審査会	農政課	長崎市	場 長	1
9. 8	県立農大講義	県立農大	諫早市	生産技術科	1
9. 10	〃	〃	〃	〃	2
9. 24	〃	〃	〃	〃	2
9. 17	〃	〃	〃	病害虫科	1
9. 27	〃	〃	〃	〃	1
9. 30	〃	〃	〃	育種科長	1
10. 7	〃	〃	〃	〃	1
10. 13	〃	〃	〃	育種科	1
10. 20	〃	〃	〃	育種科長	1
10. 28	品種関係打合せ	果樹試験場	〃	次長育種科長	2
11. 10	農業技術功労賞 場長授与	(財)農業技術協会	東京	場 長	1
11. 17	特産果樹振興打合せ	長崎市	長崎市	育種科長	1
12. 4	園芸学会 九州支部評議会	園芸学会	福岡	場 長	1
12. 9	会計検査院調査 受検	科学技術振興課	長崎市	次長他	8
1. 12	研究成果情報地区別説明会	県北農改センター	江迎町	次長・生技科	2
1. 18	県央地区農業活性化大会	県央農改センター	諫早市	次 長	1
1. 25	県立農大研究部卒業論文発表会	県立農大	〃	生産技術科長	1
2. 1	ビワ新品種振興方策検討会	果樹試験場	長崎市	場長他	3
2. 21~22	カンキツ・ビワ遺伝資源現地調査	対馬農改センター	対馬市	育 種 科	4
2. 21	果樹品種研究会説明	果樹試験場	島原市	次長、科長	2
2. 24	果樹品種研究会説明	〃	吉井町	次長	1
2. 25	「ゆうこう」植樹祭	長崎市	長崎市	育種科長	1
3. 9	連携プロジェクト 国検査	科学技術振興課	大村市	総 務 課	1
3. 26	長崎県品種研究会	果樹試験場	場 内	研 究 員	7
回 数	36回				72

1. 概況及び総括

(7) 視察研修（生産者以外）等受け入れ要請等

月日	行 事 内 容	主 催	員 数	場 所	担 当 科	対 応 員 数
7. 7~8	県立ろう学校職場体験学習	県立ろう学校	2	場 内	場各科	10
8. 2~6	県立虹の原養護学校教諭職場研修	虹の原養護学校	1	"	場各科	5
9. 6	食料・農業・農村政策審議会生産分科会 果樹部会専門委員現地調査	農政課	2	場 内	果樹試験場	5
9. 15	ブランド長崎プロデュース事業情報収集	農産園芸課	2	場 内	生産・育種科	2
10. 12	落葉果樹の栽培管理について	諫早農高	2	場 内	生産技術科	3
11. 13	果樹試験場一般公開	果樹試験場	1,253	場 内	場	24
11. 17	ミカンの栽培	宮崎県南那珂農 改センター	1	場 内	生産技術科	1
11. 16	果樹試験場における研究概要と場内視察	県立農大	8	場 内	生産技術科	1
11. 16	果樹試験場見学	放虎原小学校	120	場 内	生産・育種科	4
11. 26	果樹試験場見学（パラグワイ研修生）	農業経営課	3	場 内	果樹試験場	5
11. 29	中晩柑、高糖系温州、場視察	千々石町	25	場 内	生産技術科	1
12. 16	農業ヘルパー研修会（試験場視察）	長崎市	44	場 内	次 長	1
1. 17	果樹試験場見学（農林部職員研修）	農政課	20	場 内	果樹試験場	5
1. 14	果樹試験場視察	愛媛県八幡浜農 改センター	1	場 内	生産技術科	1
1. 28	長崎県の果樹について	県立大村城南高	12	場 内	生産・育種科	3
2. 7	果樹試験場視察	八代地方農振協	6	場 内	生産・育種科	2
2. 24	果樹試験場視察	北松北部農振協	17	場 内	生産技術科	1
3. 9	カンキツの品質向上、マルチ栽培など	愛媛県川石高校	1	場 内	生産技術科	1
3. 14	カンキツの育種・品種に関する研究	熊本農研センター	2	場 内	育種科	1
3. 14	スモモの施設栽培	熊本農研センター	1	場 内	生産技術科	1
3. 17	カンキツの品質向上対策など	和歌山西牟婁農 改	2	場 内	生産技術科	1
件 数	21件					78

13. 取材対応

月日	内 容	主 催	場 所	担 当 科	出 席 員 数
6. 7	KTN取材	広報広聴課	場 内	生産技術科	1
6. 25	NBC「あっ！ぶる」	広報広聴課	場 内	生産技術科	2
11. 18	県庁タイムス録音	広報広聴課	NBC	生産技術科	1
12. 13	認農ネット取材	農業会議	場 内	場 長	1
回 数	4回				5

Ⅱ. 研究成果の発表

Ⅱ. 研究成果の発表

1. 刊行物等

(1) 果樹試験場業務報告

誌名	判名・ページ数	発行部数
平成15年度長崎県果樹試験場業務報告	A4 20頁	500部

(2) 主要な試験成績書 (平成16年度に印刷・発行した成績書)

科名	成績書名	判名・ページ数	発行部数
生産技術科	「暖地温州ミカンの少資材・低樹高を基幹とした品質保証果実生産技術」 (地域基幹農業技術体系化促進研究)	A4 310頁	300部 (H16.9発行)
病虫害科	「集合フェロモンを利用した果樹カメムシ類の環境保全型防除技術の開発」 (農林水産省新技術実用型)	A4 108頁	300部 (H16.9発行)
	「ビワがんしゅ病に関する研究」(特別報告第2号) (元 病虫害科 森田昭)	A4 146頁	400部 (H17.3発行)

(3) 果樹試験場研究情報誌

誌名	判名・ページ数	発行部数
かつらぎ通信 創刊号	A4 8頁	500部 (h16.7発行)
かつらぎ通信 第2号	A4 8頁	500部 (h17.3発行)

(4) 研究成果情報 第19号 (平成16年8月、九州沖縄農業試験研究推進会議)

分類	成果情報名	担当科
普及に移しうる成果	「させば温州」の早期樹冠拡大のための新しゅう管理法	生産技術科
〃	ビワの徒長枝の枝傷処理による効率的な新しゅう発生方法	生産技術科
〃	ビワ良食味品種「涼風」「陽玉」の加温施設栽培における果実品質	生産技術科
技術の参考となる成果	西南暖地の雨除け栽培に適したスモモの中生品種「李王」	生産技術科
〃	西南暖地の雨除け栽培に適したスモモの晩生品種「太陽」	生産技術科

II. 研究成果の発表

(5) 九州農業研究 第66号 (平成16年5月、九州農業試験研究機関協議会)

分類	成果情報名	担当科
果樹部会	「させぼ温州」の早期樹冠拡大のための新しょう管理法	生産技術科
	スモモの棚仕立て・雨除け栽培による主要品種の特性と果実品質	生産技術科

(6) 研究成果情報 第23号 (平成16年 9月、ながさき普及技術情報)

分類	成果情報名	担当科
普及に移しうる成果	ヒリュウ台「青島温州」の安定生産のための適正着果数	生産技術科
	ヒリュウ台「青島温州」の初着果年の着果法	生産技術科
	ニホンナシ「幸水」の徒長枝摘心による花芽着生の促進	生産技術科
	がんしゅ病抵抗性台木として利用可能なピワ遺伝子源「シャンパン」	育種科
	ピワのピワサビダニによる新葉の茶褐色・わい化症状と防除法	病虫害科
技術指導の参考となる成果	早生有望系統「田口早生」「小原紅早生」の果実特性	生産技術科
	極早生温州ミカン「おおいた早生」「豊福早生」「肥のあけぼの」「ゆら早生」の果実特性	生産技術科
	土壌別のヒリュウ台「青島温州」のわい性効果	生産技術科
	温州ミカン施設栽培の改植園における早期多収と品質向上のための整枝法	生産技術科
	作業道を備えた高うね栽培早生温州の梅雨明け後シートマルチによる高品質果実の高収量安定生産	生産技術科
	新たに登録されるカンキツ「興津51号」の果実特性	生産技術科
	加温施設栽培におけるピワ「涼風」の早期多収のための芽かき法	生産技術科
	長崎県における早熟で黒色の大粒系ブドウ	生産技術科
	ハウスモモ「日川白鳳」の年間窒素収奪量	生産技術科
	透湿性シートの廃材を利用したミカン剪定枝チップの早期堆肥化技術	生産技術科
	ハウスミカンにおける紫外線カットフィルムによるアザミウマ類被害軽減	病虫害科
	温州ミカンにおけるアカマルカイガラムシの発生消長	病虫害科

## Ⅱ. 研究成果の発表

### (7) 学会誌等発表および投稿状況

発表者名	発 表 課 題 名	発 表 雑 誌 名
古川 忠	ヒリュウ台‘青島温州’早期安定生産のための幼木の結実管理事例	園芸学会九州支部12号 10 2004.10
高見寿隆	‘原口早生’における春葉の水ポテンシャルの動態と果実品質との関係	園芸学会誌 雑73別2、298, 2004
高見寿隆	ビワ新品種‘涼風’‘陽玉’の加温施設栽培における栽培特性について	園芸学会九州支部研集録12号、19, 2004 九州農業研究 第67号、204, 2005
福田伸二 佐藤義彦 稗圃直史 寺井理治 富永由紀子 根角博久	ビワにおける二倍体親同士の組合せからの倍数体出現事例	園芸学会雑誌 第73巻別冊1： 220, 2004
根角博久 富永由紀子 福田伸二 寺井理治	長崎県東彼杵郡川棚町で発見された特異なビワ遺伝資源の特性	園芸学会雑誌 第73巻別冊1： 221, 2004
富永由紀子 福田伸二 根角博久 加藤雅也 生駒吉識	果肉色の異なるビワ遺伝資源数品種におけるカロテノイド組成とその含量	園芸学会雑誌 第73巻別冊1： 222, 2004
根角博久 富永由紀子 福田伸二	ビワの耐寒性の多様性と開花期との関係	園芸学会雑誌 第73巻別冊2： 139, 2004
富永由紀子 根角博久 福田伸二 宮路崇生 江里口雅美	長崎県のビワ産地におけるビワの民間薬的利用方法	園芸学会雑誌 第73巻別冊2：140, 2004
根角博久 川上正徳 高見寿隆	長崎市周辺の特定期域に分布する香酸カンキツ‘ゆうこう’	園芸学会雑誌 第73巻別冊2： 293, 2004
福田伸二 稗圃直史 山本俊哉 寺井理治 根角博久	ビワがんしゅ病抵抗性遺伝子 ( <i>Pse a</i> ) と連鎖するDNAマーカーの開発	園芸学会雑誌
菅 康弘 宮崎俊英 宮路崇生 山田将樹	果実腐敗の防除を目的としたビワ灰斑病の防除体系 (予報)	日本植物病理学会報 71 (1) : 25 (講要)
富永由紀子	ビワがんしゅ病抵抗性台木素材として注目すべき遺伝資源「シヤンパン」	果実日本 第59巻第10号：70-72
福田伸二	DNAマーカーによる品種判定のための技術開発の現状	果実日本2005. 60: 104-105.
寺井理治	ビワの新品種の育成・普及と育成技術の開発	月刊「農業技術」第60巻第3号
古川 忠	ヒリュウ台‘青島温州’早期安定生産のための幼木の結実管理事例	九州農業研究 第67号 193 2005.5
徳嶋知則	施設栽培ビワ「長崎早生」の多収生産のための樹体要因	グリーンレポート NO.426 2004-12

## Ⅱ. 研究成果の発表

発表者名	発表課題名	発表雑誌名
根角博久	ビワ品種の育成	今月の農業第48巻第8号：60-67 (2004)
根角博久	ビワ品種の育成	今月の農業第48巻第8号：60-67 (2004)
菅 康弘	ビワ果実腐敗の発生原因とその対策	今月の農業 48 (9) : 78-82(2004)
宮崎英俊	長崎県のハウスミカンにおけるアザミウマ類の発生状況と物理的防除法の効果	今月の農業 49巻3号 80-84 2005.3
早田栄一郎	温州ミカンの主要病害虫一発生と防除対策一 長崎県におけるモモハモグリガの薬剤感受性	新農林技術新聞 (2004年5月5日号) 第49回日本応用動物昆虫学会大会講演 要旨
早田栄一郎	集合フェロモンと薬剤樹幹施用による果樹カメムシ類の大量誘殺	第67回九州農業研究発表会講演要旨
早田栄一郎	集合フェロモンを利用した果樹カメムシ類の防除の可能性	九州病害虫研究会報第50巻講演要旨
宮崎俊英	ハウスミカンでの近紫外線カットフィルム利用	クリンテートだより NO.21冬季号
寺井理治	落葉果樹の最近の研究成果と今後の課題	H16年 4月号「長崎の果樹」誌
寺井理治	多様化に応える技術開発を目指して	H16年10月号「長崎の果樹」誌
谷本恵美子	スモモの作り方 八つのポイント	H16年 8月号「長崎の果樹」誌
林田誠剛 谷本恵美子	落葉果樹の整枝せん定	H16年12月号「長崎の果樹」誌
古川 忠	マルチ栽培が普及するなかで 樹勢回復・次年度の安定生産のための秋期以降の対策について	H16年 9月号「長崎の果樹」誌
古川 忠	果樹試験場研究トピックス① ヒリュウ台「青島温州」の着果時期と結実法	H17年 1月号「長崎の果樹」誌
田中 実	ニホンナシの生産予測システムの開発	H17年 3月号「長崎の果樹」誌
富永由紀子	長崎県果樹試験場研究トピックス④ビワがんしゅ病抵抗性品種「シャンパン」の台木への利用	H16年 4月号「長崎の果樹」誌
宮崎俊英	温州ミカンにおける夏季のミカンハダニの被害が果実に及ぼす影響	H17年 2月号「長崎の果樹」誌
寺井理治	今、知っておこう	H17年 2月 「認農ネット」 No. 11・12合併号

## Ⅱ. 研究成果の発表

### (8) 研究成果などの専門誌連載状況

投稿者	投稿誌名	技術内容	連載等期間
林田誠剛	長崎の果樹	果樹園管理作業 ナシ	H16年 4月～12月
林田誠剛	長崎の果樹	果樹園管理作業 ハウスモモ	H17年 1月～ 3月
徳嶋知則	果実日本	果樹園管理のポイント 「温州ミカン」	H17年 1月～17年12月
根角博久	長崎の果樹	種苗法が示す果樹新品種の開発と活用	H16年10月～12月
根角博久	長崎の果樹	果樹園管理作業 ビワ	H16年 5月～12月
宮崎俊英	長崎の果樹	ビワ、落葉果樹の病害虫	H16年 4月～17年3月

### (9) 農業新聞への投稿（農業プリズムへの成果情報の記載）

投稿者	課題名	新聞記載月	
早田栄一郎	ビワのサビダニによる新葉の茶褐色化・矮化症状と防除法	H16年 8月	
古川 忠	ヒリュウ台利用による「青島温州」の若齢樹の生産安定法	H16年10月	
林田誠剛	中晩生カンキツ新品種「麗紅」の果実特性	H16年12月	
富永由美子	ビワがんしゅ病抵抗性品種の台木利用	H17年 2月	
田中 実	ナシ「幸水」の徒長枝摘心による花芽着生促進	H17年 3月	



## Ⅱ. 研究成果の発表

### 2. 成果情報の発表

#### (1) 試験研究成果地区別報告会

期 日	普及センター	場 所	発 表 課 題	発 表 者
H16. 5. 18	長崎農改センター	JAことこのうみ時津支所	させば温州の着果確保並びに品質向上対策	生産技術科 古川 忠
H17. 1. 12	県北農改センター	松浦市文化会館	作業道を備えた高畝栽培早生温州の梅雨明け後シートマルチによる高品質果実の多収安定生産	生産技術科 徳嶋知則

#### (2) 長崎県果樹技術者協議会研修会における試験研究成果情報発表

期 日	場 所	発 表 課 題	発 表 者
H16. 5. 18	県央農業協同組合	ヒリュウ台「青島温州」の安定生産のための適正着果数	生産技術科 林田誠剛
		ニホンナシ「幸水」の徒長枝摘心による花芽着生の促進	〃
		温州ミカン施設栽培の改植園における早期多収と品質向上のための整枝法	生産技術科 徳嶋知則
		ビワのビワサビダニによる新葉の茶褐色・わい化症状と防除法	病 害 虫 科 宮崎俊英
		ハウスミカンにおける紫外線カットフィルムによるアザミウマ類被害軽減	〃

### Ⅲ. 長崎県の気象概況

**4月**：全体的には晴れ間が多く好天に恵まれたが、月末に低気圧が通過し県内各地で強風など大荒れとなった。

上旬は、移動性高気圧に覆われて晴れの日が多く、日照時間は各地で平年比111～147%と多く、気温は-0.3～+0.5℃と平年並だった。低気圧の通過により1日に福江69mm、有川53mmの日降水量を観測したが、旬の降水量は各地で平年比29～86%と平年を下回った。さくら(ソメイヨシノ)の満開が2日に長崎(平年4月3日、昨年3月29日)および厳原(平年4月4日、昨年3月30日)で、3日に福江(平年4月4日、昨年3月31日)で観測された。

中旬は、高気圧に覆われて晴れの日が多く、また南から暖かい空気が流れ込んだため、気温は期間を通して平年を上回って通過し、旬の平均気温は各地で平年比+2.5～+3.4℃とかなり高かった。18日から19日にかけては、前線を伴った低気圧が発達しながら黄海から日本海へ進んだため、各地で大雨となり、18日には福江71mm、19日には雲仙岳98mm、島原80mmの日降水量をそれぞれ観測した。

下旬は、高低気圧に覆われて晴れの日が多かったため、日照時間は平年比112～153%と平年を上回った。前線を伴った低気圧が、26日に発達しながら黄海を北東に進んで朝鮮半島南岸を通過し、27日にはさらに発達しながら日本海を北東へと進んだため、県内各地で大荒れの天気となった。このため、26日には厳原で165mm、有川で105mmの日降水量を、長崎ではこれまでの4月の記録を更新する南西の風28.8m/sの最大瞬間風速を観測した。

※(大村 - 観測地点は果樹試験場 平均気温：15.6℃、降水量：101.5mm)

**5月**：前線や低気圧の影響で曇りや雨が多く、中・下旬に大雨となった。29日梅雨に入る。

上旬は、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かったため、降水量は各地で平年より多く、日照時間は平年より少なかった。3日は寒冷前線を伴った低気圧が朝鮮半島を通過したため、厳原、有川で204mmの日降水量を観測するなど、各地でまとまった雨となった。旬の初めと終わりに南からの暖かい空気の流れ込みがあったため、平均気温は各地とも平年を上回った。

中旬は、前線の影響で雨や曇りの日が多く、降水量は平年比108～384%と平年を大きく上回り、日照時間は平年比46～67%に留まった。13日には寒冷前線の南下で、雲仙岳151mm、諫早133mm、長浦岳126mm、五家原岳120mm、口之津107mm、島原102mm、15日から16日にかけては前線の活動が活発になったため、16日に雲仙岳118mmといった日降水量が100mmを超える大雨となった。

下旬は、期間の後半に南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、旬の平均気温は+1.1～+2.1℃とかなり高かった。29日から31日にかけては、梅雨前線の影響で県内各地でまとまった雨となり、芦辺では29日に97mmの日降水量を観測した。福岡管区気象台は、長崎県を含む九州北部地方が、29日頃に梅雨入りしたと見られると発表した。(平年：6月5日頃、昨年6月9日頃)

※(大村 - 観測地点は果樹試験場 平均気温：19.6℃、降水量：305.5mm)

**6月**：高気圧に覆われて晴れの日が多く、降水量が少なかったが、下旬に県北地域で大雨となった。

上旬は、高気圧に覆われて晴れの日が多く、日照時間は県内各地で平年比138～173%と平年を大きく上回り、気温は対馬を除いて平年比+0.4～+1.6℃と高かった。6日から8日にかけては、梅雨前線の影響で雨となったが、活動が比較的弱かったため、旬の降水量は各地で平年比9～28%と少なかった。

中旬は、高気圧に覆われて晴れの日が多く、旬の平均気温は南からの暖かい空気の流れ込みもあって、各地で平年比+0.5～+2.7℃とかなり高かった。また、日照時間は平年比111～179%とかなり多かった。南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、17日から18日にかけて雨となったが、旬の降水量は厳原のほかは平年を下回り、特に南部ではほとんどの観測所で10mm未満とかなり少なかった。

下旬は、期間の初めと終わりは高気圧に覆われて晴れの日が多く、中頃は梅雨前線の活動が活発となって県北部を中心に大雨となった。停滞した梅雨前線に近い佐世保、平戸、芦辺、国見山および有川では旬の降水量が平年の約2倍の300mmを超え、前線から離れた鱒浦、長崎、島原、口之津および野母崎では100mmを下回り、平年の50%にも満たなかった。平均気温は各地で平年比+1.1～+1.8℃と平年より高い状態が続いている。

※(大村 - 観測地点は果樹試験場 平均気温：24.1℃、降水量：161.0mm)

**7月**：晴れの日が多く日照時間に恵まれた。気温も平年より高かった。降水少なく11日に早く梅雨明けした。

上旬は、高気圧に覆われて晴れの日が多かったため、旬の日照時間は各地で平年比109～151%と多く、旬の降水量は平年を上回った五家原岳のほかは平年比31～81%と平年よりも少なかった。南から暖かく湿った空気の流れ込みもあり、旬の平均気温は平年比+1.0～+1.9℃と引き続き平年より高い状態となっている。

中旬は、太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多く、旬の降水量はほとんどの観測所で10mmに満たず、平年比0～8%

### III. 長崎県の気象概況

とかなり少なかった。旬の日照時間は、平年を上回る所が多く平年比80~236%と2倍を超える所もあり、旬の平均気温は平年比+1.4~+2.3℃と高かった。福岡管区気象台は、長崎県を含む九州北部地方が、11日頃に梅雨明けしたとみられと発表した。(平年：7月18日頃、昨年：7月31日頃)

下旬は、太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多く、旬の降水量は平年比0~8%とかなり少なく、多いところでも長浦岳の8mmに留まり、県内の観測所の約半数は1mmに満たなかった。旬の日照時間は平年比119~192%、旬の平均気温は+0.9~+2.0℃とともに平年を上回った。

※(大村 - 観測地点は果樹試験場 平均気温：27.4℃、降水量：57.5mm)

**8月：高温・少雨の状態が続いたが、中旬の台風15号の影響で降雨あり。下旬に台風16号九州縦断。**

上旬は、期間の前半は太平洋高気圧の周辺部にあたり曇りの日が多く、後半は太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、上空の寒気の流れ込みや強い日射の影響のため局地的に雷雨となった。旬の平均気温は+0.9~+1.8℃と平年より高く、旬の降水量は県内の約半数で10mm未満と少なく、高温・少雨の状態が続いている。

中旬は、期間の初め太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多く、中頃から終わりにかけて前線や台風第15号の影響により曇りや雨の日が多かった。このため、旬の降水量は平年並から平年を上回る所が多かった。旬の平均気温は、+0.8~+1.7℃と依然高い状態が続いている。19日に台風第15号が五島の西海上を北上し、対馬海峡を北東に進んだ。

下旬は、期間の初めと終わりは前線や台風第16号の影響で雨や曇りの日が多く、中頃は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。19日にマーシャル諸島付近で発生した台風第16号は、30日09時半頃に鹿児島県串木野市付近に上陸し、九州を縦断した。上陸時の勢力は中心気圧950hPa、中心付近の最大風速40m/sの大型で強い台風であった。

※(大村 - 観測地点は果樹試験場 平均気温：28.0℃、降水量：174.5mm)

**9月：上旬に台風18号上陸で被害発生。中旬・下旬も前線の影響で高温・多雨となった。台風21号接近。**

上旬は、7日に台風第18号が長崎市付近に上陸したため、県内各地で被害が発生した。気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多かったため、旬の平均気温は平年を下回り、旬の日照時間はかなり少なかった。台風や前線の影響でまとまった降水となり、旬の降水量は平年より多かった。

中旬は、上空の寒気や南からの暖かく湿った空気の流れ込みにより大気の状態が不安定となって、雷雨となる日が多かった。旬の平均気温は、暖かい空気の流れ込みのため各地で平年を上回り平年比+1.6~+2.3℃とかなり高く、旬の降水量は多くの観測所で平年を上回り、平戸では16日に日降水量156mmを観測した。

下旬は、前線や台風の影響により雨や曇りの日が多く、旬の日照時間は各地で平年比27~88%となった。旬の降水量は島原半島を中心に100mmを越え、旬の平均気温は平年比+0.5~+1.1℃と高かった。台風第21号は29日に鹿児島県に上陸した。今年九州へ上陸した台風は、第16号(8月30日)、第18号(9月7日)に続いて3個となった。

※(大村 - 観測地点は果樹試験場 平均気温：24.3℃、降水量：306.0mm)

**10月：前半曇天が多く日照時間は少ない。10月発生 of 台風23号の影響で大雨をもたらす。**

上旬は、日本海からの冷たい北東風の流れ込みや気圧の谷、前線の影響で、曇りの日が多かった。日本海からの冷たい北東風の影響により対馬海峡に低い雲が流れ込んだため、県北部では、降水量は平年より多く、日照時間はかなり少なかった。影響を受けにくい県南部では、降水量は平年を下回り、日照時間はほぼ平年並だった。

中旬は、期間の初めから中頃にかけて、高気圧に覆われて晴れの日が多かったため、旬の日照時間は平年比110~124%と平年より多かった。19日から20日にかけては前線や台風第23号の影響で大雨となり、19日は有川126mm、福江111mm、20日は雲仙岳196mmと100mmを超える日降水量をそれぞれ観測した。旬の降水量は、県内各地で平年比245~469%とかなり多かった。

下旬は、期間の初めは高気圧に覆われて晴れの日が多く、中頃から終わりにかけては前線の影響で雨や曇りの日が多かった。25日から26日にかけては東シナ海から九州南部に伸びる前線の影響で雨となり、この2日間で雲仙岳、島原、口之津および福江では50mmを越える雨量を観測し、旬の降水量は壱岐・対馬を除いて平年を上回り、平年比2~4倍となった。旬の平均気温は平年並から平年より高く、旬の日照時間は平年並から平年より多かった。

※(大村 - 観測地点は果樹試験場 平均気温：18.5℃、降水量：117.5mm)

**11月：全体的に高気圧に覆われて晴れ間が続き、平均気温、日照時間ともに平年を上回った。**

上旬は、高気圧に覆われて晴れの日が多く、旬の日照時間は平年比+106~+131%と平年より多く、旬の平均気温は平年比+0.5~+1.6℃と平年より高かった。10日には前線を伴った低気圧の接近により次第に雨となり、福江で日降水量31mmを観測したが、旬の降水量は各地で平年比11~88%と平年を下回った。

### Ⅲ. 長崎県の気象概況

中旬は、高気圧と気圧の谷が交互に通過し、天気は周期的に変化した。11日には気圧の谷の通過で、国見山、佐世保および諫早では50mmを越える日降水量を観測した。旬の降水量は壱岐・対馬では平年を下回り、そのほかの長崎地方と五島では平年比101~284%と平年を上回った。高気圧に覆われて晴れの日が多かったため、旬の平均気温および旬の日照時間ともに、ほとんどの観測所で平年を上回った。

下旬は、期間を通して高気圧に覆われたため、日照時間は各地で平年を大きく上回り、平年比132~185%とかなり多かった。また、平均気温は平年比+0.4~1.4℃と高かった。26日に寒冷前線が南下して降水があったが、日降水量は有川での11mmのほかは10mmに満たず、旬の降水量は平年比0~17%に留まった。

※(大村 - 観測地点は果樹試験場 平均気温: 14.4℃、降水量: 33.0mm)

**12月: 上旬の低気圧の通過により県内各地大雨。下旬に冬型の気圧配置で気温低下。**

上旬は、高気圧に覆われて晴れの日が多く、旬の平均気温は平年比+1.6~+2.9℃、旬の日照時間は平年比128~177%と平年を上回った。4日には、東シナ海の前線上に低気圧が発生しながら九州を通過したため、県内各地で大雨となり、12月の日降水量の極値を更新する観測地点が多かった。この大雨により、旬の降水量は平年比134~775%とかなり多かった。

中旬は、高気圧に覆われて晴れの日が多く、また、気圧の谷が通過した後の寒気の流れ込みも弱かったため、期間を通して平年より気温の高い日が続き、旬の平均気温は平年比+3.2~+4.6℃とかなり高く、11月中旬から下旬並となった。旬の日照時間は対馬を除く観測地点で平年比122~157%と平年を上回り、旬の降水量は多くの観測地点で10mmに満たなかった。初霜を福江で14日(平年12月10日、昨年12月28日)に観測した。

下旬は、期間の中頃から冬型の気圧配置が続いて寒気の流れ込んだため、気温は平年より低く経過し、旬の平均気温は平年比-1.9~+0.7℃とほぼ平年並だった。旬の日照時間は、寒気による低い雲の流れ込みもあり平年比52~83%と平年を下回った。初霜を長崎で28日(平年12月7日、昨年12月21日)、厳原で21日(平年11月29日、昨年11月23日)、初氷を長崎で28日(平年12月19日、昨年12月21日)、厳原で28日(平年12月4日、昨年12月8日)、初雪を長崎で31日(平年12月21日、昨年12月19日)、福江で31日(平年12月24日、昨年12月19日)、厳原で31日(平年12月8日、昨年12月19日)にそれぞれ観測した。

※(大村 - 観測地点は果樹試験場 平均気温: 10.0℃、降水量: 99.5mm)

**1月: 冬型の気圧配置で曇りの日が多く、気温も平年より低く経過した。**

上旬は、西高東低の曇りの日が多く、強い寒気の流れ込んだ日は雪やあられが降った。このため、旬の平均気温は県内各地で平年を下回り、平年比-2.2~-1.1℃と低く、旬の日照時間は厳原のほかは平年比47~98%と平年を下回った。気圧の谷の通過により雨の日もあったが、旬の降水量は平年並みだった長崎のほかは平年比12~60%と少なかった。初氷を福江で3日(平年12月21日、昨年12月28日)に観測した。

中旬は、西高東低の冬型の気圧配置となって曇りの日が多く、強い寒気の影響で雪やあられが降る日があった。気温は期間を通してほぼ平年を下回って経過し、旬の平均気温は平年比-1.8~-0.3℃だった。旬の日照時間は、壱岐・対馬で平年を上回ったほかは、平年比54~96%と平年を下回り、旬の降水量は平年比9~43%と少なかった。

下旬は、前線を伴った低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、旬の降水量は各地で平年比97~216%と平年を上回り、旬の日照時間は平年比56~104%と平年を下回った。期間の始めと終わりは寒気の流れ込みにより気温は平年より低かったが、そのほかの日は平年より高く経過したため、旬の平均気温は平年比+0.5~+1.4℃と高かった。

※(大村 - 観測地点は果樹試験場 平均気温: 5.5℃、降水量: 34.0mm)

**2月: 月を通して冬型の気圧配置で曇りや雨が多く、気温が低く、日照時間が短かった。**

上旬は、冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で、雨や雪、曇りの日が多く、旬の日照時間は平年比32~72%と平年を大きく下回った。気温は期間の前半は平年より低く、後半は平年より高く経過し、旬の平均気温は平年比-1.8~-0.1℃と各地で概ね平年より低かった。1日~2日は強い寒気の流れ込み、県内各地で雪や強風による大荒れの天気となり、長崎では最大(深)2cmの積雪を観測した。

中旬は、気圧の谷や低気圧の影響で、曇りや雨の日が多く、旬の日照時間は平年比44~65%と平年を大きく下回ってかなり少なかった。15日および18日には前線を伴った低気圧の通過によりまとまった雨量となり、旬の降水量は平年比98~391%と平年より多かった。特に15日には福江93mm、厳原82mm及び有川57mmの日降水量を観測するなど各地で大雨となった。

### Ⅲ. 長崎県の気象概況

下旬は、冬型の気圧配置となる日が多く、寒気の流れ込みにより旬の平均気温は-2.9~-1.6℃と平年より低かった。22日早朝は放射冷却により各地で最低気温が氷点下となり、翌23日にかけては南より暖かい吸気が流れ込んだため、最高気温が15℃を越えたところもあるなど気温差が大きかった。24日には前線を伴った低気圧九州南岸付近を通過したため、多くの観測所で20~30mmの日降水量を観測した。

※ (大村 - 観測地点は果樹試験場 平均気温 : 5.6℃、降水量 : 63.0mm)

#### 3月 : 寒気を伴った低気圧が通過し低い気温が続いた。さくらの開花が平年、昨年より遅れた

上旬は、期間の中頃と終わりでは日平均気温が10℃以上の気温差があった。5日には寒気を伴った低気圧が通過したため、日平均気温は各地で-1.6~3.8℃と低く、10日は南から暖かい空気が流れ込んだため、日平均気温は各地で10.9~15.0℃と高くなった。旬の平均気温は平年を下回り、旬の日照時間は平年並みだった。

中旬は、期間の前半に強い冬型の気圧配置となって寒気が流れ込んだため、旬の平均気温は平年比-2.0~-1.2℃と低かった。17日には前線を伴った低気圧が対馬海峡を通過したため各地で大雨となり、厳原92mm、雲仙岳79mm、平戸77mm、諫早77mm、福江70mmの日降水量を観測し、旬の降水量は平年並みから平年より多かった。

下旬は、低気圧の通過により22日には厳原で87mm、27日には福江で71mmの日降水量を観測するなど大雨になる日があった。このため、旬の降水量は平年比107~296%と平年を大きく上回った。移動性高気圧に覆われたため、旬の日照時間は平年比133~161%と平年を上回り、寒気が流れ込んだため、旬の平均気温は平年比-1.0~-0.1℃と平年を下回った。さくら(ソメイヨシノ)の開花が31日に福江(平年28日、昨年26日)で観測された。

※ (大村 - 観測地点は果樹試験場 平均気温 : 8.9℃、降水量 : 83.0mm)

参考 : 長崎県気象月報 (長崎海洋气象台)

長崎県果樹試験場気象表

月	平成16年											平年値			
	半月	気温 (°C)		地温 (°C)	降水量 (mm)	日射量 (MJ)	湿度 (%)	風速 (m/sec)	気温 (°C)			地温 (°C)			降水量 (mm)
		平均	最高						最低	平均	最高	最低	10cm	30cm	
4月	1	11.6	17.9	5.8	17.5		67.3	2.6	12.2	17.5	7.3	14.0	14.2	13.9	14.4
	2	14.5	21.3	7.9	2.0		63.0	2.3	13.6	18.6	9.3	15.2	15.1	14.7	35.2
	3	17.4	24.3	11.7	5.5		72.3	1.4	14.1	19.0	9.4	15.7	15.8	15.3	22.3
	4	17.6	23.8	11.8	33.0		63.5	2.8	15.0	20.2	10.4	16.7	16.5	16.0	24.8
	5	17.1	23.9	9.5	0.0		56.7	2.2	15.6	21.1	11.1	17.5	17.4	16.8	22.0
	6	15.6	22.2	9.6	43.5		66.0	3.0	16.8	22.1	12.1	18.4	18.2	17.5	28.5
	平均	15.6	22.2	9.4	101.5		64.8	2.4	14.6	19.8	9.9	16.2	16.2	15.8	147.3
5月	1	18.1	23.1	14.1	49.5		77.0	3.3	17.1	22.0	12.9	19.0	18.9	18.3	34.0
	2	18.8	24.5	13.8	19.5		73.2	2.7	18.1	22.8	13.5	19.6	19.5	18.8	27.9
	3	19.8	24.7	15.5	113.0		82.0	2.2	18.8	23.5	14.2	20.4	20.2	19.6	33.2
	4	17.8	21.6	15.5	106.0		84.5	1.9	18.5	23.6	13.8	20.6	20.5	19.9	37.5
	5	19.4	25.7	13.2	0.0		61.4	2.0	19.7	24.7	14.6	21.5	21.2	20.6	17.1
	6	23.1	27.6	19.3	18.0		75.9	2.7	20.4	25.2	15.7	22.2	21.9	21.2	26.5
	平均	19.6	24.6	15.4	305.5		75.7	2.5	18.8	23.6	14.1	20.5	20.3	19.7	176.1
6月	1	22.5	29.0	15.2	0.0		54.7	1.8	21.2	26.0	16.6	22.8	22.5	21.6	30.1
	2	22.6	27.6	19.1	12.5		77.5	1.4	21.7	26.0	17.3	23.4	23.1	22.4	34.5
	3	23.1	29.0	17.7	0.0		64.1	1.9	22.9	26.1	18.1	23.7	23.4	22.8	42.0
	4	26.5	32.8	21.6	2.5		65.0	2.4	22.5	26.5	19.0	24.2	23.8	23.3	61.3
	5	25.0	28.4	22.4	49.0		79.0	2.8	22.9	26.5	19.7	24.5	24.2	23.7	71.3
	6	24.8	28.6	22.0	97.0		81.4	1.9	23.7	27.0	20.7	24.9	24.6	24.1	101.3
	平均	24.1	29.2	19.6	161.0		70.3	2.0	22.3	26.3	18.6	24.9	23.6	23.0	340.4

平年値は1971年~2000年の平均

月	平成 16 年											平 年 値			
	気 温 (°C)			降 水 量 (mm)	日 射 量 (MJ)	湿 度 (%)	風 速 (m/sec)	気 温 (°C)			地 温 (°C)			降 水 量 (mm)	
	平 均	最 高	最 低					平 均	最 高	最 低	10cm	30cm	50cm		
7 月	26.6	31.1	22.8	16.5		73.4	3.1	24.6	27.8	21.7	25.7	25.3	24.6	69.0	
	25.8	29.8	22.3	33.5		77.1	2.6	25.5	29.1	22.4	27.1	26.4	25.5	53.8	
	27.2	31.7	24.2	1.5		75.6	2.8	26.1	29.5	23.2	26.8	27.0	26.2	48.5	
	28.2	32.1	25.3	0.0		73.8	2.9	26.5	30.2	23.3	27.9	27.3	26.7	68.7	
	28.5	33.2	25.1	0.0		74.9	1.6	27.3	31.2	23.9	28.7	28.2	27.3	39.4	
	28.3	33.9	24.3	6.0		72.7	2.1	27.6	31.6	23.9	28.9	28.5	27.7	40.2	
平均	27.4	32.0	24.0	57.5		74.5	2.5	26.3	29.9	23.1	27.5	27.1	26.3	319.6	
8 月	27.3	32.8	24.0	13.5		76.0	2.0	27.7	31.9	24.1	29.5	28.9	28.2	19.9	
	28.9	34.9	25.3	0.0		72.2	1.7	27.2	31.5	23.5	29.1	28.9	28.3	39.8	
	29.0	35.1	25.1	12.5		68.5	2.0	27.4	31.5	23.7	29.0	28.7	28.6	26.7	
	27.8	32.3	24.6	49.5		75.6	3.7	27.1	31.5	23.8	29.2	28.9	28.3	29.5	
	27.2	32.7	23.4	5.5		77.2	1.7	26.7	31.0	23.1	28.7	28.6	28.2	34.5	
	28.0	32.7	24.4	93.5		71.5	3.2	26.5	31.6	22.9	28.3	28.3	28.0	60.7	
平均	28.0	33.4	24.4	174.5		73.4	2.4	27.1	31.3	23.5	29.0	28.7	28.3	211.1	
9 月	24.3	30.3	19.9	12.5		73.1	2.0	25.5	29.9	21.9	27.8	27.9	27.8	39.4	
	24.2	28.8	21.1	95.0		75.7	2.9	25.2	29.4	21.3	27.1	27.4	27.4	36.9	
	26.6	32.5	22.2	13.0		76.2	2.3	24.1	28.5	20.3	26.2	26.7	26.8	34.2	
	25.1	29.7	22.0	102.5		80.9	2.3	23.3	27.8	19.3	25.6	26.1	26.3	23.8	
	21.6	25.7	18.1	72.0		81.3	1.6	22.5	26.8	18.8	24.9	25.6	25.6	28.8	
	24.1	28.5	20.5	11.0		75.1	2.0	21.4	25.9	17.3	24.0	24.7	25.0	28.7	
平均	24.3	29.3	20.6	306.0		77.0	2.2	23.7	28.1	19.8	25.9	26.4	26.5	191.8	

平年値は1971年～2000年の平均

月	平 成 1 6 年											平 年 值			
	半 旬	気 温 (°C)			地 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日 射 量 (MJ)	湿 度 (%)	風 速 (m/sec)	気 温 (°C)			降 水 量 (mm)		
		平 均	最 高	最 低						平 均	最 高	最 低			
10 月	1	21.0	25.9	16.8	25.3	1.0	69.9	2.2	20.9	25.9	16.6	23.4	24.1	24.4	10.5
	2	20.6	25.5	17.2	24.4	1.5	70.9	1.8	19.6	24.2	15.3	22.1	23.2	23.7	10.6
	3	17.5	23.9	11.9	23.7	0.0	64.4	1.7	19.4	24.3	15.0	21.5	22.5	22.7	17.6
	4	19.0	23.9	14.4	22.2	78.0	68.4	3.5	18.2	22.9	13.8	20.5	21.7	22.2	17.0
	5	17.3	23.1	12.4	21.2	16.0	72.7	1.6	17.2	22.3	12.5	19.4	20.7	21.4	8.0
	6	16.3	21.1	11.6	20.3	21.0	71.4	1.8	16.3	21.1	12.0	18.7	19.9	20.6	17.4
平均	18.5	23.8	14.0	22.8	117.5	69.7	2.1	18.6	23.5	14.2	20.9	22.0	22.5	81.1	
11 月	1	16.0	21.9	11.8	19.9	0.0	67.3	2.3	15.4	20.6	10.9	17.5	18.9	19.5	11.5
	2	17.3	23.4	12.1	19.6	3.5	72.6	2.3	15.2	20.2	11.2	17.2	18.4	19.0	12.9
	3	15.9	20.4	11.5	19.7	24.5	73.1	1.8	13.9	18.5	10.0	16.1	17.5	18.3	11.1
	4	12.4	17.3	8.5	18.6	0.5	68.7	1.8	12.8	17.4	8.7	15.1	16.6	17.5	13.0
	5	12.7	19.1	7.6	17.3	0.0	67.1	2.1	11.4	16.2	6.9	13.6	15.5	16.6	14.8
	6	11.9	17.1	7.3	16.6	4.5	66.4	2.2	10.5	15.2	6.6	13.0	14.6	15.7	12.2
平均	14.4	19.9	9.8	18.6	33.0	69.2	2.1	13.2	18.0	9.1	15.4	16.9	17.8	75.4	
12 月	1	12.5	17.6	7.8	15.7	73.5	69.2	2.2	9.7	14.5	5.6	11.9	13.6	14.7	8.3
	2	10.4	16.8	5.6	15.1	2.5	67.4	2.0	9.2	14.1	5.4	11.4	12.9	14.1	11.1
	3	10.8	16.6	5.4	14.4	1.5	70.7	1.7	8.1	12.7	4.2	10.5	12.3	13.4	6.3
	4	12.1	17.4	7.2	14.2	2.5	76.1	1.6	7.6	12.2	3.8	9.9	11.5	12.8	10.3
	5	8.9	13.1	4.5	13.9	4.5	72.3	1.5	7.3	12.0	3.7	9.5	11.0	12.2	9.6
	6	6.0	9.9	1.7	12.9	15.0	64.4	1.9	6.8	11.4	2.9	8.9	10.4	11.7	10.0
平均	10.0	15.1	5.2	14.3	99.5	69.8	1.8	8.1	12.8	4.3	10.4	11.9	13.1	55.6	

平年値は1971年～2000年の平均



月 半 旬	平 成 1 7 年						平 年 値							
	気 温 (°C)		地 温 (°C)		日 射 量 (MJ)	湿 度 (%)	風 速 (m/sec)	気 温 (°C)		地 温 (°C)		降 水 量 (mm)		
	平 均	最 高 最 低	2 0cm					平 均	最 高 最 低	1 0cm	3 0cm		5 0cm	
1	5.8	10.6	0.8	11.4	8.5	64.6	2.2	6.5	11.3	2.8	8.7	10.1	11.3	13.5
2	4.9	8.3	1.0	11.0	1.0	63.1	2.0	6.4	10.8	2.8	8.3	9.8	10.5	9.3
3	5.0	9.2	1.8	10.1	0.0	59.9	2.2	5.7	10.0	2.2	7.9	9.4	10.4	12.2
4	5.2	8.8	2.5	9.8	6.0	67.1	2.4	5.5	9.8	1.9	7.6	9.1	10.2	9.5
5	5.7	9.8	1.8	9.7	16.0	73.5	1.6	5.5	9.8	1.8	7.5	8.8	9.9	15.1
6	6.2	10.7	2.3	10.0	2.5	68.9	1.8	5.0	9.8	1.3	7.4	8.7	9.7	6.3
平均	5.5	9.6	1.7	10.3	34.0	66.3	2.0	5.8	10.2	2.1	7.9	9.3	10.3	65.7
1	2.5	7.3	-1.1	9.2	6.0	73.5	2.6	5.2	9.6	1.5	7.3	8.6	9.5	12.4
2	7.0	11.0	3.3	9.0	13.0	79.4	1.4	5.7	10.3	2.0	7.7	8.8	9.6	9.8
3	5.6	11.3	0.4	9.5	9.0	66.1	1.9	6.9	11.7	2.7	8.2	9.1	9.8	14.7
4	8.3	11.4	5.7	10.3	20.0	75.9	2.3	6.6	11.3	2.8	8.6	9.4	10.1	22.2
5	6.1	10.8	1.7	10.1	15.0	66.7	2.1	6.7	11.4	2.9	8.8	9.6	10.2	16.5
6	3.5	9.4	-2.1	9.9	0.0	56.7	2.2	6.9	11.5	3.0	9.0	9.8	10.3	10.0
平均	5.6	10.2	1.6	9.6	63.0	70.6	2.1	6.3	11.0	2.5	8.3	9.2	9.9	85.6
1	5.2	10.4	0.8	9.9	2.0	67.3	1.9	7.7	12.4	3.4	9.4	10.3	10.7	16.1
2	10.2	15.9	5.1	10.3	4.0	68.4	2.6	8.8	13.9	4.4	10.3	10.8	11.1	15.8
3	6.7	11.2	2.9	11.7	3.0	62.1	3.0	9.2	14.0	4.9	10.8	11.4	11.6	23.9
4	10.2	16.1	4.4	12.1	29.0	67.4	2.7	9.8	14.8	5.3	11.4	12.0	12.1	16.1
5	9.5	14.6	5.3	12.6	37.0	68.4	2.9	10.4	15.3	6.2	12.2	12.7	12.7	21.2
6	11.1	16.4	6.6	12.7	8.0	68.2	2.5	11.6	16.2	7.4	13.0	13.3	13.2	24.4
平均	8.9	14.2	4.3	11.6	83.0	67.0	2.6	9.6	14.4	5.3	11.3	11.8	12.0	117.5

平年値は1971年~2000年の平均

IV. 試験研究課題

IV 試験研究課題

I. ミカンの生産安定及び品質の向上

生産技術科

シートマルチ栽培の資材の検討と脱マルチを指した品質保証果実生産技術の確立

1. 新資材による温州ミカン品質向上技術の開発

(県単)

(1) マルチ栽培の低コスト対策

新 平16～20

① 低コスト資材の選定、検討

2. 脱マルチ栽培による品質保証果実生産技術の開発

(県単)

(1) 脱マルチ栽培を目指した品質保証果実生産技術

新 平16～20

① 根域制限法

② ヒリュウ台の検討

II. ミカンの商品性の向上

生産技術科

地域に適した品種の適応性と、させぼ温州の連年安定生産技術の開発

1. 温州ミカンの新品種の適応性

(県単)

(1) 新系統の特性

昭49～

① 本県への適応性

2. 長崎ブランド「出島の華」の安定生産技術の確立

(県単)

(1) 高品質果実安定生産技術の確立

新 平16～19

① 樹体特性の解明

② 高品質果実の生産法

③ 連年安定生産技術

III. ミカン病害虫の防除

病害虫科

主要病害虫の効率的な防除技術を確立する

1. 温州ミカンにおける化学合成農薬を半減した病害虫管理技術の開発

(県単)

(1) 病害虫発生原因の解明

新 平16～18

① 現地実態調査

新 平16～20

② 病害虫発生動態の要因解明

(2) 病害虫の化学合成農薬によらない効率的な防除法の開発

新 平16～20

① 防除法の開発

新 平17～20

② 防除技術の体系化

(3) 化学合成農薬を半減した病害虫管理技術の開発

新 平18～20

① 防除体系の実証と経済性の評価

新 平18～20

② 病害虫管理マニュアルの作成

2. カンキツ病害虫の防除

(1) 新殺菌剤の防除効果

委託(日植防)

① かいよう病

昭59～

② 果実腐敗

昭59～

(2) 新殺虫剤の防除効果

委託(日植防)

① ハダニ

昭59～

② 葉害

昭59～

IV. 試験研究課題

IV. 植物調節剤の安定した使用法 生産技術科

1. 果樹園における植物調節剤の利用法
- (1) 植物調節剤の実用化
- ① 常緑果樹の除草剤、生育調節剤の実用化の検討
  - ② 落葉果樹の除草剤、生育調節剤の実用化の検討
- 委託  
(日植調)  
昭52～  
平3～

V. 中晩生カンキツの安定生産及び品質向上 生産技術科

中晩生カンキツの高品質安定生産による産地拡大及び栽培技術の確立

1. 機能性に富む有望中晩性カンキツの高品質果安定生産技術の確立
- (1) 新系統の適応性 (県単)
- ① 新系統の適応性 新 平16～20
  - ② せとか等の結実管理技術 新 平16～20
  - ③ 食味向上のための糖酸調整法 新 平16～20
  - ④ 品質向上法

VI. 新品種育成による生産の拡大 育種科

新品種の育成・普及によって経営規模の拡大と新産地の育成を図る

1. ビワの育種

早生品種の育成、大果、高品質品種の育成、日持ち性の良い品種の育成、機能性成分高含有品種の育成、病虫害抵抗性品種の育成

- (1) ビワ新品種の育成 国庫  
(指定助成)
- ① ビワ第2次育種試験 昭61～
  - ② ビワ第3次育種試験 平13～
  - ③ 第2回系統適応性検定試験 平8～13
  - ④ 第3回系統適応性検定試験 平14～22

(系適協力県)  
千葉、和歌山、兵庫、愛媛、徳島、香川、熊本、鹿児島

- (2) 育種素材の探索、作出と評価 国庫  
(指定助成)
- ① ビワ遺伝資源の収集・保存と評価 昭48～
  - ② がんしゅ病抵抗性育種素材の探索と作出 平16～22
  - ③ B-クリプトキサンチン高含有育種素材の探索と作出 平16～22
  - ④ 日持ち性改良のための育種素材の探索と作出 平16～22
  - ⑤ わい性育種素材の探索と作出 平16～22
  - ⑥ 倍数性育種素材の作出と評価 平 8～18

- (3) 育種関連技術の確立
- ① 諸形質の遺伝様式の解明 平16～
  - ② 耐病性等の早期選抜法の確立 平16～22
  - ③ 組織培養系の確立、保持と利用 昭48～

- (4) ビワ新系統の特性 (県単)
- ① 本県への適応性 平9～18
  - ② ハウス栽培用系統の選抜 平14～18

2. カンキツの育種

(「ブランドながさき」農産物緊急確立推進事業) (農産園芸課)

本県独自の新品種を育成し、新たなブランド長崎農産物の早急な産地化を図ることにより園芸農業の活性化を図る。

IV. 試験研究課題

(1)新品種の育成、探索	(県単)	
①新品種の育成	新 平16~20	
②有望品種の探索	新 平16~20	
<b>VII. ビワの生産安定</b>		生産技術科
立地条件や気象条件に応じた栽培管理技術を確立し、生産性と商品性の向上を図る		
高品質果実生産技術の確立、多収生産技術の普遍化		
1. ビワ良食味品種「麗月」の栽培技術の確立	(県単)	
(1) 早期多収技術	新 平16~20	
①適正結実量の検討		
(2) 商品化向上技術の開発	新 平16~20	
①品質向上対策		
(3) 収穫期適期判断と鮮度保持対策	新 平16~20	
①鮮度保持技術		
2. 早期出荷型施設ビワ栽培の技術体系化と良食味果実の安定生産法の確立	(県単)	
(1) 早期出荷型の技術体系化	平13~17	
①樹体環境や樹体栄養等が花芽分化及ぼす影響	平13~16	
②高温期の受精率向上技術の開発	平14~16	
③冬期の地温上昇が果実肥大に及ぼす影響の解明	(県単)	
(2) 良食味果実安定生産法の確立	平13~17	
①樹体内栄養が果実品質・食味に及ぼす影響の解明	平13~17	
③良食味果実生産のための温度等調節技術の開発		
<b>VIII. 落葉果樹の生産安定及び品質向上</b>		
ナシ新品種の選抜、生育・品質予測値を用いた落葉果樹の安定生産技術の確立、 ナシ・モモの早期成園化、ブドウ・モモ・スモモの多収技術の確立		
1. 落葉果樹の新品種の適応性	(県単)	生産技術科
(1) ナシ新品種の特性	平5~	
①本県への適応性		
2. 気象及び樹体情報による長崎県の地域特性を活かした落葉果樹生産技術の確立	(県単)	生産技術科
(1) 気象情報を利用した生育予測システムの開発	平14~16	
①各樹種の休眠覚醒時期の解明		
②樹体生育時期の予測システムの開発		
(2) 樹体情報などを利用した果実肥大・品質予測システムの開発	平15~17	
①摘果指標の開発		
②果実肥大、着花(果)、形質向上の要因解明と予測法		
(3) 気象・樹体情報に基づく適地判定法の開発	平14~16	
①各樹種の生育時期マップの作製		
②新品種・有望品種の導入による労力分散モデルの開発		
(4) 生育・品質予測値を用いた栽培技術の体系化と経営評価	平16~18	
①体系化された栽培管理技術の組立実証と経営評価		
3. 新整枝法による落葉果樹管理作業の軽労化と多収技術の開発	(県単)	生産技術科
(1) 新整枝法による樹体生育と早期成園化		
①整枝法の検討	平14~16	
②幼木期の樹冠拡大とせん定方法の確立	平16~18	
③新しょう管理法と結果枝確保技術	平14~16	
(2) 新整枝法における多収技術の確立	平16~19	
①適正生育相の解明		
②結実管理技術の確立		

IV. 試験研究課題

4. 落葉果樹の重要病虫害防除法	委託 (日植防)	病虫害科
(1) ナシ病虫害の防除	昭59～	
① 病気		
② 害虫		
(2) ブドウ病虫害の防除	昭60～	
① 病気		
② 害虫		
(3) モモ病虫害の防除	昭60～	
① 病気		
② 害虫		
IX. 優良健全母樹の育成と特殊病虫害調査		病虫害科
果樹ウイルスを無毒化し健全母樹の育成、優良健全苗木の供給、異常発生及び新規発生病虫害の原因究明と対策		
1. 果樹ウイルス抵抗性健全母樹の育成と特殊病虫害調査	(県単)	
(1) ウイルスの無毒化	昭58～	
① ウイルス無毒化		
(2) 無毒ウイルスの利用	昭58～	
① 弱毒ウイルスの探索		
② ウイルス免疫苗の育成		
(3) 異常発生原因の究明	昭58～	
① 病 害		
② 虫 害		
(4) 新発生原因の解明	昭58～	
① 病 害		
② 虫 害		
2. 果樹カメムシの発生予察効率化	国庫 (特殊調査)	
(1) 集合フェロモントラップによるカメムシ類の発生予察と果樹の被害予測	平13～16	
① 集合フェロモントラップへの飛来消長による越冬成虫の加害時期推定		
② チャバネアオカメムシ新成虫の果樹園への飛来時期予測		
(2) ヒノキきゅう果によるチャバネアオカメムシの飛来予測	平13～16	
① ヒノキきゅう果の口鞘数によるヒノキからの離脱予測		
② ヒノキきゅう果の口針鞘数による果樹園への飛来時期予測		
(3) 飛来予測に基づいた防除体系の検討	平15～16	
① 果樹園への飛来予測モデルに基づく 防除体系の検討		
X. その他 (行政要望課題)		
1. 特定果樹の栽培法		
(「ブランドながさき」農産物緊急確立推進事業)	(農産園芸課)	生産技術科
特定果樹生産指導のための試作開発調査		
(1) 新果樹の試作	(県単)	
① 種類の適性	58～	
② 栽培法の実証	58～	
2. ブドウの作業管理、省力化技術の実証	(新営農)	(農業経営課) 生産技術科
新技術の導入による経営改善と産地育成		
(1) 作業管理技術の改善による省力化	(県単)	
① ブドウ摘粒技術の改善	平15～16	

IV. 試験研究課題

3. ハウスミカンスリップス類の防除技術の実証 新技術の導入による経営改善と産地育成	(農業経営課)	病害虫科
(1) 新防除素材によるスリップス類防除 ①物理的防除資材による防除	(県単) 新 平16~17	
4. 樹園地における未利用資源活用技術の開発 未利用資源リサイクルのための技術を開発し安全な剪定枝の活用マニュアルを策定する	(農業経営課)	生産技術科
(1) 果樹剪定枝の堆肥化技術の確立 ①剪定枝の堆肥化促進法 ②剪定枝堆肥の品質評価法	(県単) 平14~16 平14~16	
(2) 剪定木堆肥の樹園地への施用法の確立 ①剪定木堆肥施用量と収量・品質の関係解明	平15~16	
11. 連携プロジェクト		
1. 非破壊検査手法を取り入れた農作物の高品質栽培技術の確立	(県単)	育種科
高品質果実の効率的な栽培管理技術の確立や果樹の生理活性の解明等に資するため、非破壊により生育中の体内情報を得る手法を開発する。		
(1) ミカンを対象とした非破壊検査による水分ストレス装置の開発 ①従来手法による水分ストレスの測定実験 ②試作測定装置の実施試験	平15~16 平16	
(2) ミカン果実を対象としたレーザー糖度計の開発 ①試作レーザー糖度計の性能評価	平16	
(3) ミカン高品質栽培管理のための水分管理支援システムの開発 ①高品質果実栽培支援システムのアルゴリズムの開発 ②高品質果栽培支援システムのフィールドテスト	平16 平17	
連携機関 (総合農林試 工業技術センター その他)		
2. バイオマスを有効利用した循環型モデル地域づくり	(県単)	生産技術科
地域内に偏在するバイオマスの運搬・収集方法を検討し、既存技術(堆肥化、炭化)による処理及び生産物の有効利用方法を明らかにする。		
(1) 無煙化システムによる炭化法の確立 ①炭化、灰化法の検討 ②炭化、灰化物の有効利用法の検討	新 平16~17 新 平17~18	
連携機関 (総合農林試験場、畜産試験場、衛生公害研究所、工業技術センターその他)		
3. 水分ストレスの簡易現場診断による九州産極早生温州の高糖度化技術の開発	国庫 (高度化事業)	生産技術科
極早生温州の高品質果実生産のための診断及び誘導技術		
(1) 水分ストレスの簡易現場診断技術の確立 ①生態情報を利用した水分ストレス 診断技術の開発	平16~18	
(2) 糖度向上のための最適水分ストレスモデルの作成	平16~18	

#### IV. 試験研究課題

---

- ①新品種に対応した最適水分ストレスモデルの作成
- (3)簡易現場診断法と最適水分ストレスモデルを利用した高糖度化の実証 平16～18
  - ①水分制御による最適水分ストレスモデルへの誘導技術の確立

連携機関（佐賀県果樹試、福岡農総試、熊本果樹研セ、(独)九州沖縄農研セ  
果樹研 口之津、その他)

印 刷 平成17年7月

発 行 平成17年7月

編 集 長崎県果樹試験場

発行人 寺 井 理 治

発行所 長崎県果樹試験場

〒856-0021 長崎県大村市鬼橋町1370

Tel 0957-55-8740

Fax 0957-55-6716

印刷所 (有) 合 同 印 刷

長崎県大村市荒瀬町1101-1